



ZXHN F8748Q
XGS-PON ONT
取扱説明書

Version: V3.0

法的情報

Copyright 2026 ZTE CORPORATION.

この文書の内容は、著作権法および国際条約によって保護されています。ZTE CORPORATIONの書面による事前の同意なしに、この文書またはこの文書の一部をいかなる手段によっても複製または配布することは禁じられています。さらに、この文書の内容は契約上の守秘義務によって保護されています。

すべての会社名、ブランド名および製品名は、ZTE CORPORATIONまたはそれぞれの所有者の商標もしくは登録商標です。

ZTE CORPORATIONおよびその権利保有者は、ここに含まれる情報の使用またはそれに依存することに起因する損害について一切責任を負いません。

ZTE CORPORATIONまたはその権利保有者は、この文書の内容を対象とする、現在または未決の知的所有権または申請書を所有している可能性があります。ZTE CORPORATIONとその権利保有者との間の書面によるライセンスで明示的に規定されている場合を除き、この文書のユーザーはここに記載された内容に対するライセンスを取得することはできません。

ZTE CORPORATIONは、予告なくこの製品をアップグレードまたは技術的変更を行う権利を留保します。ユーザーはZTEテクニカルサポートWebサイトsupport.zte.com.cnにアクセスして関連情報を入手することができます。

この製品を解釈する最終的な権利はZTE CORPORATIONにあります。

改訂履歴

版数	日付	修正情報
R1.0	2026-05-08	初版

文章番号: SJ-20230911145604-013

発行日: 2026-05-08 (R1.0)

目次

1 安全上の注意事項	5
2 製品の概要	6
2.1 パッケージ内容	6
2.2 製品機能	7
2.3 ハードウェアの説明	8
2.4 製品仕様	12
2.5 ケーブル接続	12
3 準備作業	14
4 トポロジーの確認	20
5 インターネットの設定	22
5.1 ネットワークインターフェースの確認	22
5.1.1 PON 情報の確認	22
5.1.2 WAN 接続状態の確認	22
5.2 セキュリティの設定	24
5.2.1 ファイアウォールレベルの設定	24
5.2.2 フィルタルールの設定	25
5.2.3 ALG の設定	30
5.2.4 DMZ の設定	32
5.2.5 ポート転送の設定	33
5.2.6 ポートトリガーの設定	35
5.3 ペアレンタルコントロールの設定	37
5.4 SNTP の設定	39
6 LAN の設定	40
6.1 無線 LAN の設定	40
6.1.1 無線 LAN ステータスの確認	40

6.1.2 無線 LAN 基本設定	43
6.1.3 無線 LAN 拡張パラメータの設定	48
6.1.4 WPS の設定	50
6.1.5 MLO の設定	51
6.1.6 Mesh Wi-Fi の設定	52
6.2 LAN の設定	53
6.2.1 LAN ステータスの確認	53
6.2.2 LAN(IPv4)の設定	56
6.2.3 LAN(IPv6)の設定	60
6.3 UPnP の設定	66
6.4 DNS の設定	67
7 VoIP	69
7.1 SIP 機能の設定	69
8 管理と診断	70
8.1 デバイス管理設定	70
8.2 アカウント管理	71
8.3 アイドルタイムアウトの設定	72
8.4 ECO モード設定	73
8.5 ネットワーク診断	73
8.6 ループバック検出の設定	76
9 トラブルシューティング	78
図	80
表	82
用語集	84

1 安全上の注意事項



注

ご使用前に、本安全に関する注意事項をお読みください。本安全注意事項以外の利用方法で事故が発生した場合は、原則免責とさせていただきます。

注意事項

- 本製品をご利用される前、安全注意事項に目を通してください。
- 同梱される AC-DC 電源アダプタ (AC-DC アダプタ、電源コード) と LAN ケーブルをお使いください。
- AC-DC アダプタとその電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。火災、感電の原因となります。
- 利用電圧は本製品の入力電圧を満たす必要があります (電圧フリッカ 10% 以下)。
- 感電等の危険を防ぐため、電源プラグを清潔かつ乾燥を保ってください。
- 落雷による事故を防ぐため、雷雨時は必ず本製品の電源プラグを抜いてください。
- 長時間本製品を使用しない場合は、電源を切り、電源プラグを抜いてください。
- 本製品を分解しないでください。とりわけ通電したときに危険です。
- 視力保護のため、光ポートを直接目で見ないでください。
- 万が一、使用中に煙、異常な音、異常な匂い等が出た場合、すぐに本製品の AC-DC アダプタをコンセントから抜いてください。サービス提供元が指定するお問い合わせ先にご連絡ください。

使用環境

- 日光直射を避け、本製品を通気性良好な場所に設置してください。
- 本製品の上にはものを重ね置きしないでください。圧力による破損の恐れがあります。
- 本製品を乾燥している場所に設置し、浸水を避けてください。
- 熱源、水周りの近くに設置しないでください。

- 本製品設置時は電気製品・AV・OA 機器などの磁気を帯びている場所や電磁波が発生している場所（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）を避けてください。

クリーニング

- クリーニングする前に、電源を切り、デバイスに接続されているすべてのケーブルを抜いてください（電源コード、光ファイバ、ネットワークケーブルなど）。
- クリーニングするときは、液体やスプレーを使用せず、柔らかい乾いた布を使用してください。

環境を守ること

- 廃棄物は自由に捨てないで、指定のリサイクル場所に行ってください。
- 使用済み機器の廃棄に関する地域の法令を遵守し、リサイクル活動を支援してください。



2 製品の概要

2.1 パッケージ内容

本製品パッケージに 表 2-1 の各アイテムが同封されていることを確認してください。

表 2-1 パッケージの内容

項目	数量
本製品本体	1
AC-DC 電源アダプタ	1
RJ45 イーサネットケーブル	1
簡易ユーザーガイド	1
SSID ラベル	1



- このリストは参考用です。実際の内容はリストと異なる場合があります。
- パッケージに含まれるアイテムのいずれかが正しく同梱されていない(紛失、または破損している)場合は、サービスプロバイダにご連絡ください。製品交換のためには、パッケージと部品の保護をお願いします。

2.2 製品機能

インターフェース

- PON インターフェース: XGS-PON 規格、SC/UPC、ITU-T G.9807 および ITU-T G.988 規格に準拠しています。
- イーサネットインターフェース: 100 Mbps/1 Gbps/2.5 Gbps/5 Gbps/10 Gbps インターフェースと 4 つの自動検出 10 Mbps/100 Mbps/1 Gbps インターフェース(うち 1 つは TA)が IEEE 802.3 規格に準拠しています。
- WLAN インターフェース: 802.11b/g/n/ax/be @ 2.4GHz と 802.11a/n/ac/ax/be@5GHz、および 802.11ax/be@6GHz のトリプルバンド Wi-Fi は最大 18.7 Gbps 最高速度と優れたカバレッジをサポートします。
- 電話インターフェース: RJ11 コネクタを備えた 2 つのポートをサポートします。

技術機能

- ブロードバンドサービス: XGS-PON アクセスを介してインターネットに接続します。
- イーサネットサービス: ユーザー PC などのイーサネットデバイスに接続されたイーサネットインターフェースを提供します。インターネット接続と IPTV サービスを提供します。
- 電話サービス: SIP プロトコルをサポートします。
- ワイヤレス機能: 無線機能を有効または無効にし、複数の SSID と仮想 AP、自動および手動のチャンネル選択可、WPS 2.0 仕様(2.4GHz、5GHz)の周波数帯域をサポートします。
- セキュリティ管理機能: ファイアウォール、データパケットフィルタリング、アクセス制御

などの機能をサポートします。

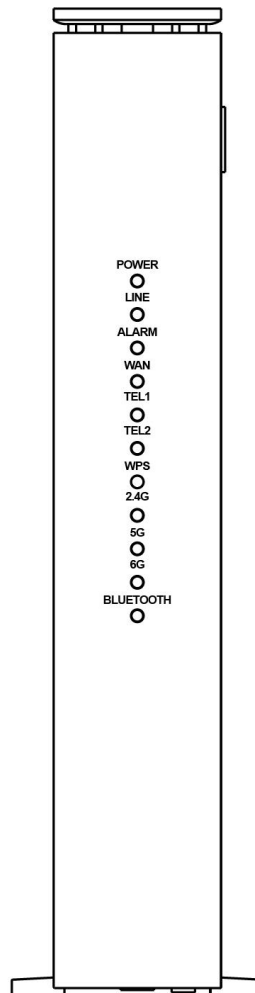
- QoS 機能: サービス制御、サービスフロータギング、キュースケジューリング、フロー分類ポリシー、速度制限ポリシー、および帯域幅保証などの機能をサポートします。
- ネットワーク管理: マルチモードネットワーク管理を提供します。

2.3 ハードウェアの説明

LED 表示

図 2-1 は、本製品ユニットの LED 表示を示しています。

図 2-1 フロントパネルの LED 表示



本製品ユニットの LED 表示の説明は 表 2-2 を参照ください。

表 2-2 フロントパネルの LED 表示

LED 表示	色	説明
POWER	消灯	電源オフ
	緑点灯	電源オン
LINE	消灯	電源オフまたは回線がアクティブではありません
	緑点灯	回線がアクティブになっています
	緑点滅	1. 速い点滅(2 回/秒): 回線の認証中です 2. 遅い点滅(1 回/秒): ONU はファームアップ中です。この状態の時は電源を抜かないでください
ALARM	消灯	1. 電源オフ 2. ONU が受信した光信号の出力が正常です
	赤点灯	ONU PON ポート光出力が電源オフになっています
	赤点滅	1. 光ファイバが接続されていません 2. ONU が受信した光信号の出力が光受信機の感度を下回っています
WAN	消灯	1. 電源オフ 2. インターネット接続がありません
	緑点灯	インターネット接続が確立され、IP アドレスを取得しましたが、データ送受信がありません
	緑点滅	データ送受信中です
TEL1	消灯	1. 電源オフ 2. 音声サービスが無効です
	緑点灯	SIP サーバへの登録が成功
	緑点滅	1. 遅い点滅: SIP パラメータの取得が失敗 2. 速い点滅: SIP サーバへの登録が失敗
TEL2	消灯	TEL2 ポート未使用
WPS	消灯	電源オフ、またはオートネゴシエーションがされていません
	黄点灯	オートネゴシエーション中です
	緑点灯	オートネゴシエーションが成功しました
	赤点灯	セッションの重複チェックまたはオートネゴシエーションに失敗しました
2.4G	消灯	1. 電源オフ 2. 2.4G Wi-Fi 機能オフ
	緑点灯	2.4G Wi-Fi 機能オン

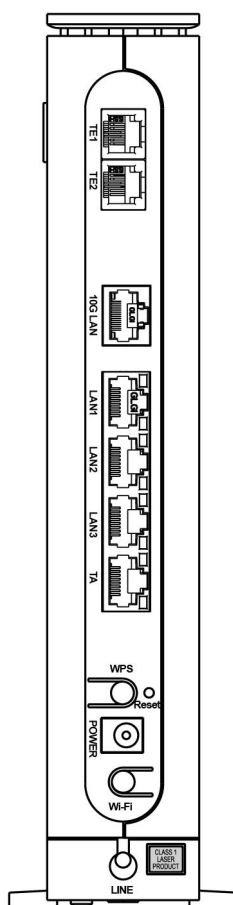
	緑点滅	2.4G Wi-Fi データ送受信中です
5G	消灯	1. 電源オフ 2. 5G Wi-Fi 機能オフ
	緑点灯	5G Wi-Fi 機能オン
	緑点滅	5G Wi-Fi データ送受信中です
6G	消灯	1. 電源オフ 2. 6G Wi-Fi 機能オフ
	緑点灯	6G Wi-Fi 機能オン
	緑点滅	6G Wi-Fi データ送受信中です
BLUETOOTH	消灯	1. 電源オフ 2. Bluetooth 機能オフ
	緑点灯	Bluetooth 機能が有効になっており、クラウドプラットフォームと正常に接続されています
	緑点滅	新しい機器がペアリングされています
*10G LAN (LAN ポート状態ランプ)	消灯	1. 電源オフ 2. LAN ポートに設備が接続されていません
	緑点灯	リンクアップ速度は 10 Gbps、またデータ送受信がありません
	緑点滅	リンクアップ速度は 10 Gbps、またデータ送受信中です
	黄点灯	リンクアップ速度は 10 Gbps 未満、またデータ送受信がありません
	黄点滅	リンクアップ速度は 10 Gbps 未満、またデータ送受信中です
*LAN1-LAN3/ TA (LAN ポート状態ランプ)	消灯	1. 電源オフ 2. LAN ポートに設備が接続されていません
	緑点灯	リンクアップ速度は 1 Gbps、またデータ送受信がありません
	緑点滅	リンクアップ速度は 1 Gbps、またデータ送受信中です
	黄点灯	リンクアップ速度は 1 Gbps 未満、またデータ送受信がありません
	黄点滅	リンクアップ速度は 1 Gbps 未満、またデータ送受信中です

* 10G LAN、LAN1、LAN2、LAN3、および TA の LED がネットワークインターフェースにあります。

インターフェース

図 2-2 は、本製品ユニットのインターフェースとボタンを示しています。

図 2-2 サイドパネルのインターフェースとボタン



本製品ユニットのインターフェースとボタンの説明は表 2-3 を参照ください。

表 2-3 サイドパネルのインターフェースとボタンの説明

インターフェース/ ボタン	説明
TEL1 TEL2	RJ11 ポート、電話機コードを使用して電話機を接続するためのポートです
10G LAN	イーサネットポート、RJ45 ケーブル経由で PC に接続します
LAN1 - LAN3	イーサネットポート、RJ45 ケーブル経由で PC に接続します
TA	IP 電話ポート、RJ45 ケーブル経由で IP 電話機に接続します
RESET	リセットボタン、設備が通電した状態で細い針などで押し、5 秒以内に離せば、設備がリセットされます。リセット後もユーザー設定情報は失われません。5 秒以上長押しすれば、工場出荷設定に戻してリセットします
POWER	電源入力、付属している電源アダプタを接続します
LINE	PON 接続ポート、光ファイバでインターネットに接続します
WPS	Wi-Fi 保護設置機能ボタン、WPS 対応端末との接続時に本ボタンを押すことで接続を容易に行うことができます

Wi-Fi	Wi-Fi 機能ボタン、Wi-Fi 機能を有効(オン)または無効(オフ)にします
-------	--

2.4 製品仕様

本製品の仕様については、表 2-4 を参照してください。

表 2-4 製品仕様

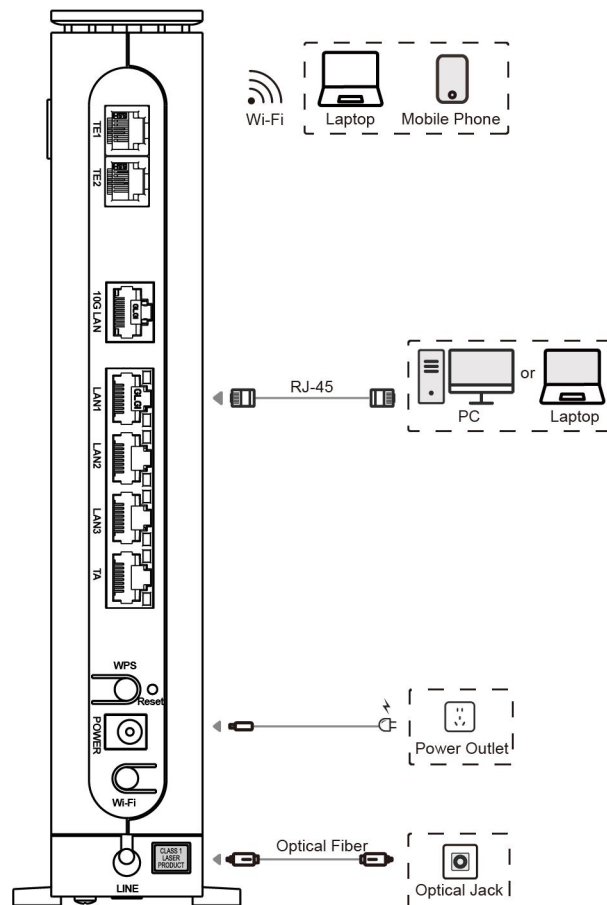
技術仕様	
外観寸法	236.5 mm (H) * 215 mm (D) * 40 mm (W) (注: 固定台座の幅 60 mm)
電源アダプタ	定格出力: DC 12.0 V、3.0 A 入力: AC 100 V - 240 V、50 Hz/60 Hz
環境要件	
動作温度	0 °C ~ 40 °C
動作湿度	5% - 95% (結露なし)

2.5 ケーブル接続

本製品は、10 Gbps/1 Gbps イーサネットインターフェースまたは Wi-Fi インターフェースを介して、XGS-PON アップリンク光アクセスと内部ネットワーク機能をホームユーザーおよびビジネスユーザーに提供します。

図 2-3 は、本製品に接続されているデバイスを示しています。

図 2-3 接続全体図



ケーブルの接続が正しいことを確認し、電源アダプタを接続します。POWER LED が点灯し、他の LED が正常に動作した後、キャリアのサービスを使用できます。

ワイヤレスネットワークのカバレッジ範囲に影響する要因には、本製品の場所、製品とワイヤレス端末間の距離、障害物の数、障害物の材質と密度、干渉源が含まれます。ワイヤレス信号の強度を最大にするために、次の原則に従って製品を配置することをお勧めします。

- 本製品は、無線信号の伝播に影響を与える物体、たとえば金属物体や鏡などの反射率の高い物体から遠く離しておく必要があります。
- 電子レンジ、冷蔵庫、ワイヤレスルーター、コードレス電話、Bluetooth 製品など、強力な磁場または電界のある電気製品から本製品を遠ざけてください。
- 本製品は、適用エリアと同じフロアに設置する必要があります。
- 本製品の上に他の物を置かないでください。製品と無線端末の間の障害物の数を減らすようにしてください。

- 本製品を適用エリアの中央に置き、角に置かないでください。
- 本製品を置いたまま高い位置に置かないでください。推奨される高さは 1.2～1.5 メートルです。

3 準備作業

概要

このマニュアルでは、本製品のログイン方法を説明するための例として、Windows オペレーティングシステムを使用します。

前提

コンピュータで本製品にログインするには、コンピュータの IP アドレスを設定して、コンピュータの IP アドレスと本製品のメンテナンス IP アドレスを同じネットワークセグメントに所属させる必要があります。

本製品の初期値のメンテナンス情報は以下のとおりです。

- IP アドレス: 192.168.1.1
- サブネットマスク: 255.255.255.0/24
- ゲートウェイ: 192.168.1.1

手順

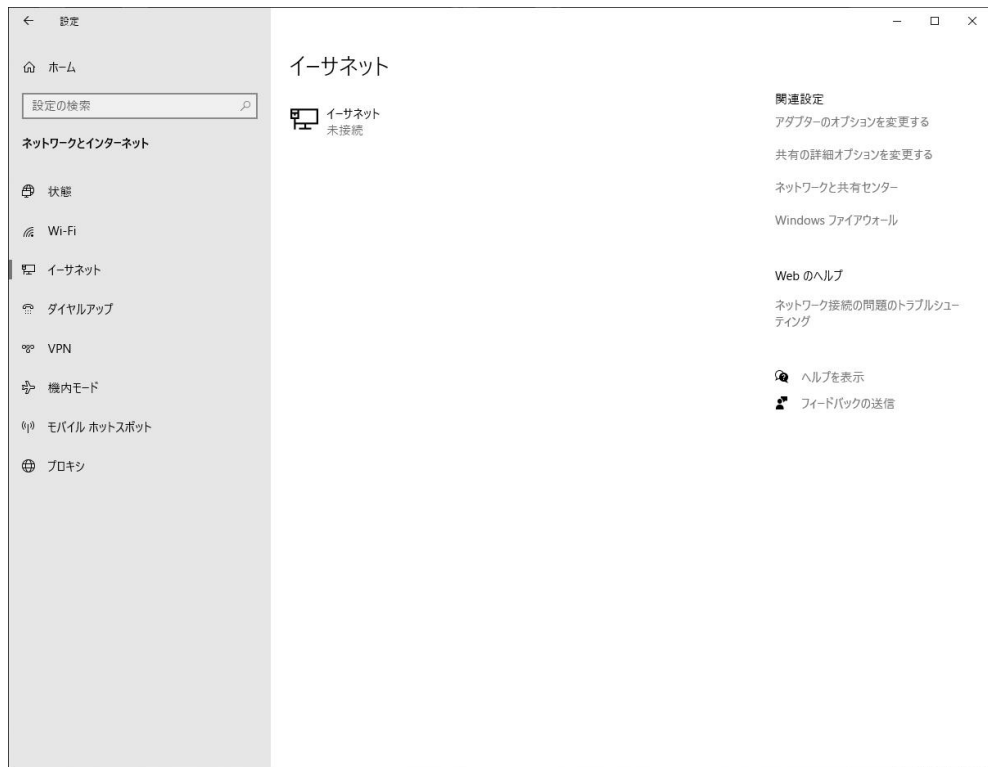
1. Windows システムで、**スタートボタン→設定**を選択し、**Windows の設定**を開きます。



2. Windows の設定で、ネットワークとインターネットを選択し、ネットワークとインターネットを開きます。



3. ネットワークとインターネットで、サイトメニューのイーサネットを選択し、右側の設定画面がイーサネットの設定画面に変わります。



4. イーサネットを選択し、イーサネットの詳細設定画面に変わります。



5. IP 設定の編集を選択し、IP 設定の編集画面が表示されます。自動(DHCP)が選択されていることをご確認ください。



6. 本例としては、IP アドレスは **192.168.1.2**、サブネットマスクは **24**、初期値ゲートウェイは **192.168.1.1**。下図を参考ください。

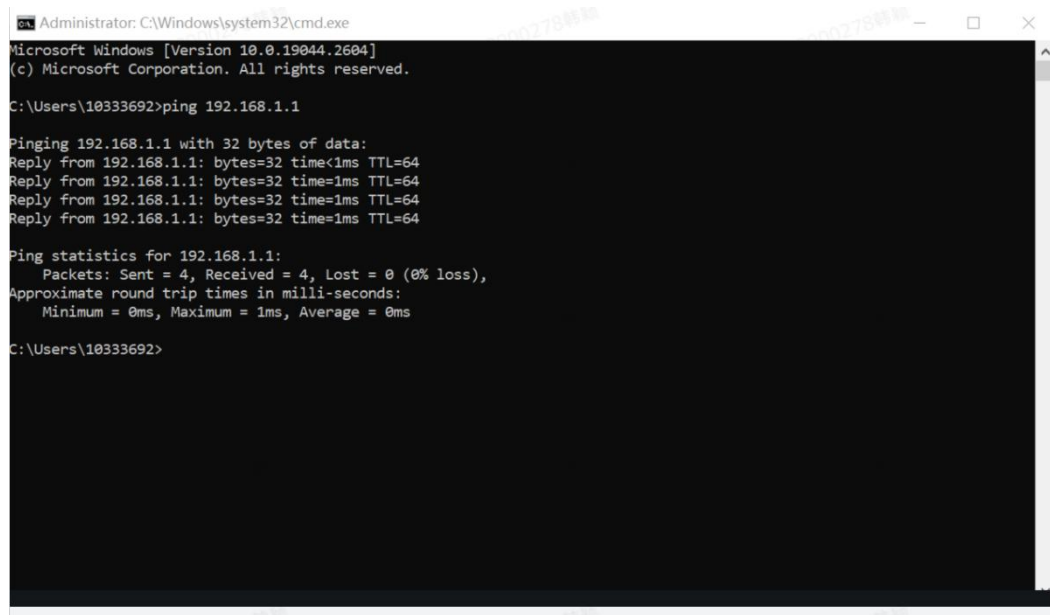


7. [保存]ボタンを選択します。

Windows では、**Windows キー + R**を選択し、ポップアップ表示されたダイアログボックスで **cmd** を入力して、**OK** ボタンを選択します。ポップアップ表示されたダイアログボックスで **ping 192.168.1.1** を入力して、**Enter** キーを押します。

- ping 操作が成功した場合：
192.168.1.1 に ping を送信しています 32 バイトのデータ：
192.168.1.1 からの応答: バイト数 =32 時間 <1ms TTL=64
- ping 操作が失敗した場合：
192.168.1.1 に ping を送信しています 32 バイトのデータ：
要求がタイムアウトしました。

図 3-1 Ping 画面



8. Web ブラウザを開き、アドレスフィールドに `https://192.168.1.1` を入力します。Enter キーを押してください。ログインページが表示されます。図 3-2 を参照してください。

図 3-2 ログインページ



9. ユーザー名とパスワード(デフォルトでは「admin / 暗号化キー」と設定されています)を入力し、ログインをクリックします。ホームページが表示されます。図 3-3 を参照してください。

図 3-3 ホームページ



10. 機器情報を確認してください。管理 & 診断→ステータスを選択します。このページは、ハードウェアバージョンとソフトウェアバージョンが正しいかどうかを示しています。図 3-4 を参照してください。

図 3-4 デバイス情報ページ

▼ デバイス情報	
デバイスタイプ	F8748Q
デバイスのシリアル番号	6C11BA-ZTEG1000004A
パッチ番号	07eaP4N2006a
ハードウェアバージョン	V3.0
ソフトウェアバージョン	V3.0.10P4N2
ブートバージョン	V3.0.10P10N12

現在の状態を表示

11. 最新情報を取得するには、[現在の状態を表示]をクリックします。

4 トポロジーの確認

概要

トポロジー画面では、管理者またはユーザーがネットワーク管理、トラブルシューティング、

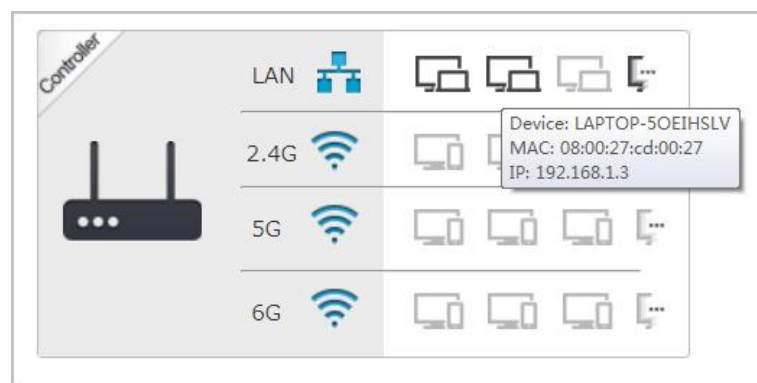
最適化を改善するために、ネットワークシステム内のコンポーネントの接続関係を確認できます。

ユーザー管理画面には、すべてのアクセスポイントに関する情報と、接続されたワイヤレスおよび有線クライアントの詳細が表示されます。

手順

1. Web 管理メイン画面で、**トポロジー**を選択します。**トポロジー**画面が表示されます。
図 4-1 を参照してください。

図 4-1 トポロジー画面



注

トポロジー画面では、マウスカーソルを合わせると、デバイスの詳細情報をすばやく確認できます。

トポロジー画面の接続済みデバイスのアイコンにマウスカーソルを合わせると、ポップアップにより、デバイス名、MAC アドレス、LAN IP アドレスが表示されます。これにより、ネットワーク上のデバイスを迅速に識別・特定し、管理することができます。

5 インターネットの設定

5.1 ネットワークインターフェースの確認

5.1.1 PON 情報の確認

概要

本製品デバイスの光学モジュール情報には、ONU 状態、入力電力、出力電力、動作温度、動作電圧、および動作電流が含まれます。

手順

1. Web 管理メイン画面で、**インターネット→ステータス→PON 情報**を選択して、**PON 情報**ページを開きます。図 5-1 を参照してください。

図 5-1 PON 情報ページ

▼ PON情報	
ONU状態	動作状態(o5)
光モジュール入力パワー (dBm)	-22.5963
光モジュール出力パワー (dBm)	6.8801
光モジュール供給電圧 (mV)	3296
光送信器のバイアス電流 (mA)	34.924
光モジュールの動作温度 (°C)	49.195

現在の状態を表示

2. 最新情報を確認するには、**[現在の状態を表示]**をクリックします。

5.1.2 WAN 接続状態の確認

概要

WAN 接続ステータスメニュー項目を使用して、IP アドレス、接続名などを含む WAN 接続のステータスを確認できます。PON 接続ステータス情報は、PON 接続が作成されたときのみ表示されます。

手順

1. Web 管理メイン画面で、インターネット→ステータス→WAN。WAN 接続状態ページを開きます。 図 5-2 を参照してください。

図 5-2 WAN 接続ステータスページ

▼ WAN接続ステータス	
接続名	omci_ipv4_dhcp_1
タイプ	IP
IPバージョン	IPv4/v6
NAT	オン
IPアドレス	172.16.102.10/255.255.255.0
DNSアドレス	223.5.5.5/10.46.56.246/0.0.0.0
IPv4ゲートウェイ	172.16.102.1
リース残時間	0 時 25 分 25 秒
IPv4接続ステータス	接続済み 更新 リリース
IPv4オンライン期間	1 時 19 分 34 秒
切断理由	なし
LLA	fe80::6a2a:ddff:fe80:f2b1
GUA	a172:16:3301:8c01:6a2a:ddff:fe80:f2b1
DNSアドレス	c::2/bf::2/::
IPv6ゲートウェイ	fe80::d6c1:c8ff:fe94:8810
IPv6接続ステータス	接続済み
IPv6オンライン期間	1 時 19 分 21 秒
WAN MAC	68:2a:dd:80:f2:b1

現在の状態を表示

2. 最新情報を確認するには、[現在の状態を表示]をクリックします。



注

MAP-E モードではタイプ「MAP-E」が表示され、使用可能なポートレンジと IP アドレスが表示されます。

5.2 セキュリティの設定

5.2.1 ファイアウォールレベルの設定

概要

ファイアウォールを設定することで、デバイスのセキュリティ性能を向上させ、外部ネットワークからの悪意のあるアクセスを回避できます。

手順

1. Web 管理メイン画面で、インターネット→セキュリティ→ファイアウォールを選択して、ファイアウォールページを開きます。図 5-3 を参照してください。

図 5-3 ファイアウォールページ

2. パラメータを設定する。各パラメータの詳細は 表 5-1 を参照ください。

表 5-1 ファイアウォール

パラメータ	説明
セキュリティレベル	セキュリティレベルを設定します。 1. 高: Ping リクエストを含め、外部からの不正アクセスを防ぎます。 2. 低: 外部からの不正アクセスを防ぎます。ただし、Ping リクエストは許可します。 3. オフ (推奨しません): ファイアウォールを無効にします。 初期値: 高
アンチハッキング	ハッキング防止対策を有効にし、インターネット攻撃によるデバイスのシャットダウンを防止するには、このチェックボックスをオンにします。この機能により、Ping フラッド、PoD (Ping of Death) 攻撃、および SYN フラッド攻撃を防ぐことができます。

	初期値: オン
--	---------

3. 変更を適用するには、[設定]をクリックします。

5.2.2 フィルタルールの設定

概要

この手順では、MACアドレスフィルタ、URLフィルタ、IPアドレスフィルタを含むフィルタ条件の設定方法を説明します。

- フィルタスイッチとモードの設定: フィルタ機能を有効にし、フィルタモード(ブラックリストまたはホワイトリストなど)を設定してください。
- IP フィルタ: 特定の IP アドレスのネットワークリソースへのアクセスを許可または拒否するルールを設定し、機密情報のセキュリティを保護するとともに、アクセス制御を実現します。
- MAC フィルタ: デバイスの MAC アドレスを識別して、特定のデバイスのネットワーク接続を許可または拒否することで、ネットワークセキュリティを強化し、不正アクセスを防止します。
- URL フィルタ: ユーザーの URL リクエストをフィルタリングし、特定の Web リソースへのアクセスを許可または拒否します。

手順

フィルタスイッチとモードの設定

1. Web 管理メイン画面で、インターネット→セキュリティ→パケットフィルタ設定を選択して、フィルタスイッチとモード設定ページを開きます。図 5-4 を参照してください。

図 5-4 フィルタスイッチとモード設定ページ

2. フィルタスイッチとモードのパラメータを設定します。フィルタスイッチとモードのパラメ

ータについては、表 5-2 をご参照ください。

表 5-2 フィルタスイッチとモード設定パラメータの説明

パラメータ	説明
MAC フィルタ	オンを選択すると、MAC フィルタ機能が有効になります。 初期値: オフ
モード	MAC フィルタ機能を有効にします。 2 つのモードがあります。 1. ブラックリスト: MAC フィルタリストのブラックリスト アドレスはアクセスできません。 2. ホワイトリスト: ホワイトリストは、MAC フィルタリスト内のアドレスのみにアクセスできます。 初期値: オフ
URL フィルタ	オンを選択すると URL フィルタ機能が有効になります。 初期値: オフ
モード	URL フィルタ機能を有効にします。 2 つのモードがあります。 1. ブラックリスト: URL フィルタ リストのブラックリスト アドレスはアクセスできません。 2. ホワイトリスト: ホワイト リストは、URL フィルタ リスト内のアドレスのみにアクセスできます。

3. 変更を適用するには、[設定] をクリックします。

IP フィルタの設定

1. Web 管理メイン画面で、インターネット→セキュリティ→パケットフィルタ設定を選択して、IP フィルタページを開きます。図 5-5 を参照してください。

図 5-5 IP フィルタページ

▼ IPフィルタ

▼ 新項目

☐ オン
☒ オフ

名前

モード

☒ 許可
☐ 破棄

優先度

1

IPバージョン

IPv4

送信元IP範囲

 /

宛先IP範囲

 /

プロトコル

TCP

送信元ポート範囲

 ~

宛先ポート範囲

 ~

対象インターフェース(in)

任意

対象インターフェース(out)

任意

DSCP

設定

キャンセル

+

新しいアイテムを作成する

2. IP アドレスフィルタのパラメータを設定します。表 5-3 に IP アドレスフィルタのパラメータ一覧を示します。

表 5-3 IP フィルタのパラメータ一覧

パラメータ	説明
オン/オフ	IP フィルタ機能を有効にするには、ラジオボックスのボタンを オン に設定します。 初期値: オフ
名前	IP フィルタの名前を設定します。 名前の入力必須です。 文字数: 1～32
モード	1. 許可: フィルタエントリに合致した IPv6 パケット通信をさせます。 2. 破棄: フィルタエントリに合致した IPv6 パケット通信をさせません。 初期値: 許可
優先度	フィルタの優先度を設定します。1 ～ 20 まで選択可能です。 ※フィルタエントリは最大 20 個設定できます。 ※エントリが複数ある場合、優先度の数字の小さいエントリから優先します。 ※優先度が重なった場合、新しく設定したルールが適用され、以前設定されていたルールの優先度数字が1つ大きくなります。

	初期値: 1
IP バージョン	オプション: IPv4、IPv6
送信元 IP 範囲	フィルタ対象とする IPv6 または IPv4 パケットの送信元 IP アドレスを設定します。 任意をチェック入れると、すべてのアドレスがフィルタ対象を意味します。
宛先 IP 範囲	フィルタ対象とする IPv6 または IPv4 パケットの宛先 IP アドレスを設定します。 任意をチェック入れると、すべてのアドレスがフィルタ対象を意味します。
プロトコル	パケットをフィルタリングする対象のプロトコルを選択します。 1. TCP: TCP をフィルタリングします。 2. UDP: UDP をフィルタリングします。 3. TCP と UDP: TCP と UDP をフィルタリングします。 4. ICMP/ICMPv6: ICMP/ICMPv6 をフィルタリングします。 ICMPv6 が選ばれた場合、次のパラメータもサポートします。 1. 任意: ICMPv6 プロトコルがフィルタ対象を意味します。 2. コード指定: TYPE と CODE にそれぞれ数値を入力します。
送信元ポート範囲/ 宛先ポート範囲	送信元ポートの範囲/宛先ポートの範囲です。 フィルタ条件を実際の状況に応じて設定します。オプションのパラメータですので、空欄にしておくこともできます。 範囲: 1～65535
対象インターフェース (in)	データトラフィックの方向を指定します。対象インターフェース (in) のオプションと対象インターフェース (out) のオプションを同じにすることはできません。 対象インターフェース (in) が LAN なら、対象インターフェース (out) は WAN 接続となります。 データトラフィックの方向はアップストリームとなります。 初期値: 任意
対象インターフェース (out)	データトラフィックの方向を指定します。対象インターフェース (in) のオプションと対象インターフェース (out) のオプションを同じにすることはできません。 対象インターフェース (in) が LAN なら、対象インターフェース (out) は WAN 接続となります。 データトラフィックの方向はアップストリームとなります。 初期値: 任意
DSCP	IP パケットヘッダーの TOS フィールド内にある DSCP 値 (範囲: 0～63) に一致します。 値を指定することで異なる優先度レベルのパケットを識別し、トラフィックをフィルタリングおよび制御できます。

3. 変更を適用するには[設定] をクリックします。

MAC フィルタの設定

1. Web 管理メイン画面で、インターネット→セキュリティ→パケットフィルタ設定を選択して、MAC フィルタページを開きます。図 5-6 を参照してください。

図 5-6 MAC フィルタページ

2. MAC アドレスフィルタのパラメータを設定します。表 5-4 に MAC アドレスフィルタのパラメーター一覧を示します。

表 5-4 MAC フィルタパラメータの説明

パラメータ	説明
名前	MAC フィルタの名前です。 長さ: 1～32
タイプ	フィルタする方法です。 オプション: ブリッジ、ルーティング、ブリッジとルーティング 初期値: ルーティング
プロトコル	データ・ストリームのプロトコルです。 オプション: IP および任意 初期値: 任意
送信元 MAC アドレス	フィルタが必要な MAC アドレスです。 MAC アドレスの設定は必要です。 両方のオプションを同時に null にすることはできません。

3. 変更を適用するには、[設定] をクリックします。

URL フィルタの設定

1. Web 管理メイン画面で、インターネット→セキュリティ→パケットフィルタ設定を選択し

て、URL フィルタページを開きます。図 5-7 を参照してください。

図 5-7 URL フィルタページ

2. URL フィルタのパラメータを設定します。表 5-5 に URL フィルタのパラメーター一覧を示します。

表 5-5 URL フィルタパラメータの説明

パラメータ	説明
名前	URL フィルタの名前です。
URL	フィルタするホームページの URL アドレスを入力します。

3. 変更を適用するには、[設定] をクリックします。

5.2.3 ALG の設定

概要

このセクションでは、本製品がセキュリティを強化するために、レイヤ 4 パケットのプライベート IP アドレスをパブリック IP アドレスに変換できるように ALG を設定する方法について説明します。

手順

1. Web 管理メイン画面で、インターネット→セキュリティ→ALG を選択して、ALG ページを開きます。図 5-8 を参照してください。

図 5-8 ALG ページ

▼ ALG (アプリケーションレイヤゲートウェイ)

FTP ALG	☒ オン ☐ オフ
H323 ALG	☒ オン ☐ オフ
IPSEC ALG	☒ オン ☐ オフ
PPTP ALG	☒ オン ☐ オフ
RTSP ALG	☒ オン ☐ オフ
SIP ALG	☒ オン ☐ オフ
TFTP ALG	☒ オン ☐ オフ

すべてオン | すべてオフ

設定 キャンセル

2. ALG パラメータを設定します。表 5-6 に ALG パラメータを示します。

表 5-6 ALG パラメータの説明

パラメータ名	説明
FTP ALG	NAT 環境下で FTP ファイル転送が正しく行われるようポートをネゴシエートします。
H.323 ALG	H.323 プロトコルメッセージが NAT デバイスを通過する際の変換問題を解決し、マルチメディア通信を保証します。
IPSEC ALG	IPsec ALG は IPsec パケットの変換を処理し、NAT 環境下での VPN 通信を安定させます。
PPTP ALG	PPTP プロトコル内の GRE カプセル化パケットを処理し、NAT 環境下での VPN 接続の安定性を保証します。
RTSP ALG	UDP データストリームのパススルーポリシーを自動的に追加し、NAT 環境下でストリーミングメディアが適切に伝送されるようにします。
SIP ALG	SIP パケットを検出・変換し、NAT 環境下での SIP セッションの確立と維持を保証します。
TFTP ALG	NAT 環境下で TFTP ファイルが正しく識別・処理され、スムーズなファイル転送を保証します。

3. 変更を適用するには[設定]をクリックします。



注

- 「すべてオン」を選択: 全てのALG サービスをオンにします。

- 「すべてオフ」を選択：全てのALG サービスをオフにします。
- MAP-E モードではIPSEC のみ対応します。

5.2.4 DMZ の設定

概要

このセクションでは、DMZ の設定方法について説明します。デバイスは、内部ネットワークサーバーにアクセス出来るよう、送信先 IP アドレスとポート番号を外部ネットワークアドレス(ネットワーク側)から内部のネットワークアドレス(ユーザ側)へ変換します。

手順

1. Web 管理メイン画面で、インターネット→セキュリティ→DMZ を選択して、DMZ-IPv4 ページを開きます。図 5-9 を参照してください。

図 5-9 DMZ-IPv4 ページ

2. DMZ パラメータを設定します。表 5-7 に DMZ パラメータを示します。

表 5-7 DMZ パラメータ

パラメータ	説明
DMZ	DMZ ホスト機能を有効(オン)または無効(オフ)にします。 初期値:オフ
WAN 接続	ポート転送の為の IPv4 WAN 接続です。 オートセンス:WAN 側に自動的に接続します。
DMZ ホストの IP アドレス	LAN 側のコンピュータまたは無線デバイスの MAC アドレスまたは IP アドレスです。

	有効な入力:IPv4 アドレスまたは MAC アドレスです。
--	--------------------------------

3. 変更を適用するには[設定]をクリックします。

5.2.5 ポート転送の設定

概要

このセクションでは、外部ネットワークからのコンピュータが WAN 接続を介して LAN 側サーバにアクセスできるようにポート転送を設定する方法を説明します。ポート転送ではポート転送の設定に必要なパラメータを提供します。

複数のサービス用のローカルサーバがあり、それらをパブリックにアクセス可能にしたい場合は、ポート転送ポリシーを指定する必要があります。NAT を適用する事で、これらサーバの内部 IP アドレスをインターネット上でユニークな単一の IP アドレスに変換します。

インターネットユーザーにとって、LAN 上のすべての仮想サーバは同じ IP アドレスを持ちます。この IP アドレスは ISP によって割り当てられます。インターネットユーザーにサーバ接続を容易にする為、このアドレスは動的ではなく静的である必要があります。但し、インターネットユーザーが IP アドレスの代わりに URL を使って仮想サーバにアクセスできるように、動的 DNS を使用することができます。

手順

1. Web 管理メイン画面で、**インターネット→セキュリティ→ポート転送**を選択して、**ポート転送**ページを開きます。図 5-10 を参照してください。

図 5-10 ポート転送ページ

▼ ポート転送

[ポート転送を設定する際に注意すべき点は何ですか？](#)

▼ 新項目 ☒ オン ☐ オフ 

名前

プロトコル

WAN接続

WAN側ホストのIPアドレスの範囲 ~

LAN側ホスト

WANポート ~

LANホストポート ~

 新しいアイテムを作成する

2. ポート転送パラメータを設定します。表 5-8 にポート転送パラメータの一覧を示します。

表 5-8 ポート転送パラメータ

パラメータ	説明
オン/オフ	1. オン:ポート転送機能を有効にします。 2. オフ: ポート転送機能を無効にします。
名前	仮想ホスト名、null にする事はできません。
プロトコル	プロトコル名 (TCP、UDP、TCP と UDP) です。 初期値のプロトコルは TCP です。
WAN 接続	ポート転送の為に IPv4 WAN 接続です。
WAN 側ホストの IP アドレスの範囲	WAN 側ホストの IP アドレスセグメント。
LAN 側ホスト	LAN 側ホストの IPv4 アドレス、または MAC アドレスです。
WAN ポート	WAN 側ホストのポートセグメントです。範囲: 1-65535。
LAN ホストポート	LAN 側ホストのポート番号です。範囲: 1-65535。

3. 変更を適用するには[設定]をクリックします。



注

- この機能により、ユーザーはWAN側から LAN側の仮想ホストにアクセスすることができます。
- ポート転送を使用することにより、WAN側から割り当てられた IP とポート間のホストへのアクセスは、LAN 側の1つのホストに転送されます。
- MAP-E モードでは使用可能ポート範囲が表示され、WANポートの範囲として設定することができます。

5.2.6 ポートトリガーの設定

概要

このセクションでは、ポートトリガーの設定方法について説明します。ポートトリガーはポートトリガー設定に必要なパラメータを提供します。

つのポートがトリガーポートになるように構成されている場合、もし一つのアプリケーションが、このトリガーポートを外部との接続をセットアップする為に使用していれば、本製品デバイスはその外部接続を内部送信のポートを開くために転送します。

ポートのトリガーは、ポートを保護するために使用される。システムはこれらのポートがトリガーされていない限り、これらのポートをオープンする事はありません。

手順

1. Web 管理メイン画面で、インターネット→セキュリティ→ポートトリガーを選択して、ポートトリガーページを開きます。図 5-11 を参照してください。

図 5-11 ポートトリガーページ

▼ ポートトリガー

▼ 新項目 ● オン ○ オフ 

名前

トリガーIP アドレス

サービスタイプ

トリガーポート

接続タイプ

WANポートの範囲

タイムアウト

0 . 0 . 0 . 0

TCP ▼

TCP ▼

 ~

設定 キャンセル

+ 新しいアイテムを作成する

2. ポートトリガーのパラメータを設定します。表 5-9 にポートトリガーのパラメータを示します。

表 5-9 ポートトリガーパラメータ

パラメータ	説明
オン/オフ	ポートトリガー機能を有効(オン)または無効(オフ)にします。 初期値:オフ
名前	ポートトリガーの名前です。 長さ:1~10
トリガー IP アドレス	LAN 側のコンピュータの IP アドレスです。
サービスタイプ	TCP、UDP 及び TCP と UDP を含むアプリケーションのサービスタイプです。 初期値:TCP
トリガーポート	アプリケーションで使用するポートです。 範囲:1~65535
接続タイプ	外部への接続に使用される接続タイプ。TCP、UDP と TCP と UDP を含みます。 初期値:TCP
WAN ポートの範囲	トリガポートマップ上のデバイスプロトコルのポート範囲を指定します。(パケットのレイヤ 4 のポート番号) デバイスがトリガーポートにアクセスするとスタートポートとエンドポートのサービスが有効になります。 WAN のスタートポートと WAN エンドポートは次の条件を満たす必要があります。 エンドポートの番号はスタートポートの番号より大きいです。

	終了ポート番号と開始ポート番号の差は 9 未満です。 範囲: 1～65535
タイムアウト	着信ポートを閉じる時間です。 範囲: 60～1800 初期値: 1200

3. 変更を適用するには[設定]をクリックします。



注

MAP-E モードでは使用可能ポート範囲が表示され、WAN ポートの範囲として設定することができます。

5.3 ペアレンタルコントロールの設定

概要

ペアレンタルコントロール機能を使用すると、保護者が子供のネット利用を制限・管理できます。さまざまなパラメータを設定することで、子供の年齢やニーズに合わせたネットアクセスルールをカスタマイズし、安全で健全なネット環境での成長をサポートできます。

以下の例は、適用シナリオの一例です。

- 保護者は特定の時間帯を設定して、子供がインターネットにアクセスできないようにすることで、学習に集中させることができます。
- 保護者は不適切なコンテンツを含むウェブサイトへのアクセスをブロックするための URL ブラックリストを作成できます。
- 保護者は URL ホワイトリストを作成し、子供が特定の安全なウェブサイトのみを閲覧できるようにできます。

手順

1. Web 管理メイン画面で、**インターネット→ペアレンタルコントロール**を選択して、**ペアレンタルコントロールページ**を開きます。図 5-12 を参照してください。

図 5-12 ペアレンタルコントロールページ

▼ ペアレンタルコントロール

▼ 新項目 ○ オン ● オフ 

名前

ユーザー識別子 : : : : :

関連するデバイスから選択する。

時間ポリシー

曜日 ☐ 毎日

☐ 日 ☐ 月 ☐ 火 ☐ 水 ☐ 木 ☐ 金 ☐ 土

期間 時 分 ~ 時 分 終日

アクション

設定 キャンセル

+ 新しいアイテムを作成する

2. ペアレンタルコントロールのパラメータを設定します。表 5-10 にペアレンタルコントロールのパラメータを示します。

表 5-10 ペアレンタルコントロールパラメータ

パラメータ	説明
オン/オフ	ペアレンタルコントロール機能を有効(オン)または無効(オフ)にします。 初期値: オフ
名前	ペアレンタルコントロールの名前です。 長さ: 1~10
ユーザー識別子	MAC アドレスに従ってユーザー情報を設定します。
曜日	ペアレントコントロール設定が適用される日を指定します。
期間	ペアレントコントロール設定が適用される時間を指定します。
アクション	- インターネットアクセスを禁止する: インターネットにアクセスは許可させません。 - URL ブラックリスト: このモードを選択すると、URL に設定されている Web サイトのみ、アクセスできません。 - URL ホワイトリスト: このモードを選択すると、URL に設定されている Web サイトのみ、アクセスできます。 初期値: インターネットアクセスを禁止する
URL	アクセス許可または拒否対象の URL アドレスです。 アクションで URL ブラックリスト、または URL ホワイトリストを選択すると、入力画面が表示されます。

3. 変更を適用するには[設定]をクリックします。

5.4 SNTP の設定

概要

この手順では、F8748Q の時刻同期サーバ情報およびタイムゾーン情報を設定し、システム時刻をローカル時刻と同期させる方法を説明します。

手順

1. Web 管理メイン画面で、**インターネット→SNTP**を選択して、**SNTP ページ**を開きます。
図 5-13 を参照してください。

図 5-13 SNTP ページ

▼ SNTP

現在の日付と時刻 2026-01-06T17:48:26

プライマリNTPサーバ

セカンダリNTPサーバ

ポーリング間隔 86400 秒

DSCP

設定 キャンセル

2. SNTP パラメータを設定します。表 5-11 に SNTP パラメータを示します。

表 5-11 SNTP パラメータ

パラメータ	説明
プライマリ NTP サーバ / セカンダリ NTP サーバ	プライマリ/セカンダリ NTP サーバのホスト名または IP アドレスです。 長さ: 0~64
ポーリング間隔	時間同期の間隔です。 単位: 秒 初期値: 86400 秒
DSCP	通信の QoS を確保するために、DSCP は、データ パケットの IP ヘッダー内の 8 つのフラグ バイトをエンコードして、サービス タイプを分類し、サービスの優先順位を区別します。DSCP の値の範囲は 0 ~ 63 です。各 DSCP コード値は、定義された PHB (ホップ単位動作) コードにマップされます。

3. 変更を適用するには[設定]をクリックします。

6 LAN の設定

6.1 無線 LAN の設定

6.1.1 無線 LAN ステータスの確認

概要

このセクションでは、無線 LAN ステータスを確認する方法について説明します。

- 無線 LAN ステータスを表示することで、無線 LAN ステータス情報を取得し、ワイヤレスネットワークのパフォーマンスと安定性を判断することができます。
- WLAN クライアントステータスを確認することで、デバイスの数、接続ステータス、信号強度など、ワイヤレスネットワークに接続されているクライアントデバイスに関する詳細情報を取得できます。この情報は、潜在的なネットワークの問題を発見し、ネットワーク パフォーマンスをタイムリーに最適化するのに役立ちます。

手順

無線 LAN ステータスの確認

1. Web 管理メイン画面で、**LAN→ステータス→無線 LAN ステータス**を選択して、**無線 LAN ステータス**ページを開きます。図 6-1 を参照してください。

図 6-1 無線 LAN ステータスページ

▼ 無線LANステータス			
無線LAN基本ステータス			
無線LAN (2.4GHz)	オン	チャンネル (2.4GHz)	11
無線LAN (5GHz)	オン	チャンネル (5GHz)	56
無線LAN (6GHz)	オン	チャンネル (6GHz)	85
SSID1 (2.4G...			
SSID名	777579100123_2G	MACアドレス	68:2a:dd:80:f2:b1
SSIDスイッチ	オン	受信バイト数/送信バイト数	0/0
暗号化タイプ	WPA2/WPA3-SAE	受信バイト数/送信バイト数	0/0
SSID2 (2.4G...			
SSID名	F8748Q-SDxx-2	MACアドレス	6a:2a:dd:90:f2:b1
SSIDスイッチ	オン	受信バイト数/送信バイト数	0/0
暗号化タイプ	WPA2-PSK-AES	受信バイト数/送信バイト数	0/0
SSID3 (2.4G...			
SSID名	SSID3	MACアドレス	6a:2a:dd:a0:f2:b1
SSIDスイッチ	オフ	受信バイト数/送信バイト数	0/0
暗号化タイプ	WPA2-PSK-AES	受信バイト数/送信バイト数	0/0
SSID4 (2.4G...			
SSID名	SSID4	MACアドレス	6a:2a:dd:b0:f2:b1
SSIDスイッチ	オフ	受信バイト数/送信バイト数	0/0
暗号化タイプ	WPA2-PSK-AES	受信バイト数/送信バイト数	0/0

SSID5 (5GHz)			
SSID名	777579100123_2G	MACアドレス	68:2a:dd:80:f2:b2
SSIDスイッチ	オン	受信バイト数/送信バイト数	0/0
暗号化タイプ	WPA2/WPA3-SAE	受信バイト数/送信バイト数	0/0
SSID6 (5GHz)			
SSID名	F8748Q-SDxx-5	MACアドレス	6a:2a:dd:90:f2:b2
SSIDスイッチ	オン	受信バイト数/送信バイト数	0/0
暗号化タイプ	WPA2-PSK-AES	受信バイト数/送信バイト数	0/0
SSID7 (5GHz)			
SSID名	SSID7	MACアドレス	6a:2a:dd:a0:f2:b2
SSIDスイッチ	オフ	受信バイト数/送信バイト数	0/0
暗号化タイプ	WPA2-PSK-AES	受信バイト数/送信バイト数	0/0
SSID8 (5GHz)			
SSID名	SSID8	MACアドレス	6a:2a:dd:b0:f2:b2
SSIDスイッチ	オフ	受信バイト数/送信バイト数	0/0
暗号化タイプ	WPA2-PSK-AES	受信バイト数/送信バイト数	0/0
SSID9 (6GHz)			
SSID名	777579100123_2G	MACアドレス	68:2a:dd:80:f2:b3
SSIDスイッチ	オン	受信バイト数/送信バイト数	0/0
暗号化タイプ	WPA3-SAE	受信バイト数/送信バイト数	0/0
SSID10 (6GHz)			
SSID名	F8748Q-SDxx-6	MACアドレス	6a:2a:dd:90:f2:b3
SSIDスイッチ	オン	受信バイト数/送信バイト数	0/0
暗号化タイプ	WPA3-SAE	受信バイト数/送信バイト数	0/0
SSID11 (6GHz)			
SSID名	SSID11	MACアドレス	6a:2a:dd:a0:f2:b3
SSIDスイッチ	オフ	受信バイト数/送信バイト数	0/0
暗号化タイプ	WPA3-SAE	受信バイト数/送信バイト数	0/0
SSID12 (6GHz)			
SSID名	SSID12	MACアドレス	6a:2a:dd:b0:f2:b3
SSIDスイッチ	オフ	受信バイト数/送信バイト数	0/0
暗号化タイプ	WPA3-SAE	受信バイト数/送信バイト数	0/0
現在の状態を表示			

2. 最新情報を取得するには、[現在の状態を表示]をクリックします。

無線 LAN クライアントステータスの確認

1. Web 管理メイン画面で、LAN→ステータス→無線 LAN クライアントステータスを選択して、無線 LAN クライアントステータスページを開きます。図 6-2 を参照してください。

図 6-2 無線 LAN クライアントステータスページ

▼ 無線LANクライアントステータス			
クライアント-1			
SSID	SSID6	名前	Xiaomi-14-Ultra
SSID 名前	F8748Q-SDxx-5	IPv6アドレス	fe80::d059:faff:fe04:443
IPv4アドレス	192.168.1.2	MACアドレス	d2:59:fa:04:04:43
MCS	9	RSSI	-25
TxRate	1920000	RxRate	144000
STA Mode	11be	帯域幅	160MHz
			現在の状態を表示

2. 最新情報を取得するには、[現在の状態を表示]をクリックします。

6.1.2 無線 LAN 基本設定

概要

このセクションでは、無線 LAN 基本設定の設定方法を説明します。無線 LAN 基本設定のパラメータの設定情報を提供します。

手順

無線 LAN オンオフの設定

1. Web 管理メイン画面で、LAN→無線 LAN→無線 LAN 基本→無線 LAN オン/オフ設定を選択して、無線 LAN オン/オフ設定ページを開きます。図 6-3 を参照してください。

図 6-3 無線 LAN オン/オフ設定ページ

▼ 無線LANオン/オフ設定

[無線LANのオン/オフを設定する際に注意すべき点は何ですか？](#)

モード	☒ 手動	☐ スケジュール設定
無線LAN (2.4GHz)	☒ オン	☐ オフ
無線LAN (5GHz)	☒ オン	☐ オフ
無線LAN (6GHz)	☒ オン	☐ オフ

2. 無線 LAN 機能のパラメータを設定します。表 6-1 に無線 LAN オン/オフ設定パラメータの一覧を示します。

表 6-1 無線 LAN オン/オフ設定パラメータ

パラメータ	説明
モード	1. 手動: 無線 LAN が手動モードになります。 2. スケジュール設定: 無線 LAN がスケジュールモードになります。 初期値: 手動
無線 LAN (2.4GHz)	オフをクリックすると 2.4GHz 無線 LAN は無効になります。 初期値: オン(有効)
無線 LAN (5GHz)	オフをクリックすると 5GHz 無線 LAN は無効になります。 初期値: オン(有効)
無線 LAN (6GHz)	オフをクリックすると 6GHz 無線 LAN は無効になります。 初期値: オン(有効)

3. 変更を適用するには[設定]ボタンをクリックします。

無線 LAN 詳細の設定

1. Web 管理メイン画面で、LAN→無線 LAN→無線 LAN 基本→無線 LAN 詳細設定を選択して、無線 LAN 詳細設定ページを開きます。図 6-4 を参照してください。

図 6-4 無線 LAN 詳細設定ページ

▼ 無線LAN詳細設定

▼ 2.4GHz

チャンネル

自動

モード

Mixed (802.11b/g/n/ax/be)

帯域幅

自動

送信出力

100%

他SSIDとの分離を有効にする

☐

設定

キャンセル

▶ 5GHz

▶ 6GHz

2. 無線 LAN 詳細設定パラメータを設定します。表 6-2 に無線 LAN 詳細設定パラメータの一覧を示します。

表 6-2 無線 LAN 詳細設定パラメータ

パラメータ	説明
チャンネル	無線 LAN チャンネルを選択します。初期値は自動です。
モード	無線 LAN 通信モードを選択します。 2.4GHz: IEEE 802.11b のみ IEEE 802.11g のみ IEEE 802.11n のみ Mixed (802.11b/g) Mixed (802.11g/n) Mixed (802.11b/g/n) Mixed (802.11b/g/n/ax) Mixed (802.11b/g/n/ax/be) 5GHz: IEEE 802.11a のみ IEEE 802.11n のみ IEEE 802.11ac のみ Mixed (802.11a/n) Mixed (802.11a/n/ac) Mixed (802.11a/n/ac/ax) Mixed (802.11a/n/ac/ax/be) 6GHz:

	IEEE802.11ax のみ Mixed (802.11ax/be)
帯域幅	2.4GHz: 自動, 20 MHz, 40 MHz. 5GHz: 自動, 20 MHz, 40 MHz, 80 MHz, 160 MHz. 6GHz: 自動, 20 MHz, 40 MHz, 80 MHz, 160 MHz, 320 MHz. 初期値は自動です。
送信出力	無線信号の送信電力のレベルです。値が大きいほど、カバレッジが広いことを示します。 オプション: 100% 80% 60% 40% 20% 初期値: 100%
他 SSID との分離を有効にする	チェックボックスをクリックすると、SSID 分離機能が有効になって、異なる SSID を持つ無線 LAN クライアントは相互に通信できません。 初期値: オフ

3. 変更を適用するには[設定]ボタンを選択します。

無線 LAN SSID の設定

1. Web 管理メイン画面で、**LAN→無線 LAN→無線 LAN 基本→無線 LAN SSID の設定**を選択して、**無線 LAN SSID の設定**ページを開きます。図 6-5 を参照してください。

図 6-5 無線 LAN SSID の設定ページ

▼ 無線LAN SSIDの設定

▼ SSID1 (2.4GHz) ☒ オン ☐ オフ

SSID名

SSIDステルス機能 ☐ オン ☒ オフ

暗号化タイプ

暗号化キー

ネットワーク分離機能 ☐ オン ☒ オフ

▶ SSID2 (2.4GHz) ☒ オン ☐ オフ

▶ SSID3 (2.4GHz) ☐ オン ☒ オフ

▶ SSID4 (2.4GHz) ☐ オン ☒ オフ

▶ SSID5 (5GHz) ☐ オン ☐ オフ

▶ SSID6 (5GHz) ☒ オン ☐ オフ

▶ SSID7 (5GHz) ☐ オン ☒ オフ

▶ SSID8 (5GHz) ☐ オン ☒ オフ

▶ SSID9 (6GHz) ☐ オン ☐ オフ

▶ SSID10 (6GHz) ☒ オン ☐ オフ

▶ SSID11 (6GHz) ☐ オン ☒ オフ

▶ SSID12 (6GHz) ☐ オン ☒ オフ

2. 無線 SSID の設定のパラメータを設定します。表 6-3 に無線 SSID の設定パラメータの一覧を示します。

表 6-3 無線 SSID の設定パラメータ

パラメータ	説明
オン/オフ	無線 SSID の設定機能を有効(オン)または無効(オフ)にします。 初期値: オン
SSID 名	SSID の名前です。 長さ: 1~32 初期値: SSID1(2.4GHz)、SSID2(2.4GHz)、SSID6(5GHz)と SSID10(6GHz)はオンです。SSID5(5GHz)と SSID9(6GHz) は MLO 設定がオンの時は SSID1(2.4GHz)の設定に同期されます。
SSID ステルス機能	違法ユーザーを防ぐために SSID 情報を隠します。 初期値: オフ
暗号化タイプ	暗号化タイプを選択します。オプション: ● セキュリティなし

	● WPA/WPA2-PSK(TKIP/AES) ● WPA/WPA2-PSK(AES) ● WPA2-PSK(AES) ● WPA2-PSK(AES)/WPA3-SAE(AES) ● WPA3-SAE(AES)
暗号化キー	機能の有効化にはチェックボックス(目のマーク)を選択すると、暗号化キーが表示されます。 初期値:オフ
ネットワーク分離機能	チェックボックスをクリックすると、SSID 分離機能が有効になって、同じ SSID を持つ無線 LAN クライアントは相互に通信できません。

3. 変更を適用するには[設定]ボタンをクリックします。

6.1.3 無線 LAN 拡張パラメータの設定

概要

この手順では無線 LAN 拡張の設定方法を説明します。無線 LAN 拡張は無線 LAN 拡張パラメータの設定機能を提供します。

手順

アクセス制御-モード設定

1. Web 管理メイン画面で、LAN→無線 LAN→無線 LAN 拡張→アクセス制御-モード設定を選択して、アクセス制御-モード設定ページを開きます。図 6-6 を参照してください。

図 6-6 アクセス制御-モード設定ページ

▼ アクセス制御-モード設定

SSID1	☒ フィルタなし	☐ ブラックリスト	☐ ホワイトリスト
SSID2	☒ フィルタなし	☐ ブラックリスト	☐ ホワイトリスト
SSID3	☒ フィルタなし	☐ ブラックリスト	☐ ホワイトリスト
SSID4	☒ フィルタなし	☐ ブラックリスト	☐ ホワイトリスト
SSID5	☐ フィルタなし	☐ ブラックリスト	☐ ホワイトリスト
SSID6	☒ フィルタなし	☐ ブラックリスト	☐ ホワイトリスト
SSID7	☒ フィルタなし	☐ ブラックリスト	☐ ホワイトリスト
SSID8	☒ フィルタなし	☐ ブラックリスト	☐ ホワイトリスト
SSID9	☐ フィルタなし	☐ ブラックリスト	☐ ホワイトリスト
SSID10	☒ フィルタなし	☐ ブラックリスト	☐ ホワイトリスト
SSID11	☒ フィルタなし	☐ ブラックリスト	☐ ホワイトリスト
SSID12	☒ フィルタなし	☐ ブラックリスト	☐ ホワイトリスト

2. アクセス制御モードの設定パラメータを設定します。表 6-4 に、アクセス制御モードの設定パラメータを示します。

表 6-4 アクセス制御モードの設定パラメータ

パラメータ	説明
フィルタなし	フィルタは適用されません(初期値)
ブラックリスト	LAN ユーザーが特定のアドレスにアクセスすることを拒否します。
ホワイトリスト	LAN ユーザーが特定のアドレスにアクセスできるように許可します。

3. 変更を適用するには[設定]ボタンをクリックします。

アクセス制御-ルール設定

1. Web 管理メイン画面で、LAN→無線 LAN→無線 LAN 拡張→アクセス制御-ルール設定を選択して、アクセス制御-ルール設定ページを開きます。図 6-7 を参照してください。

図 6-7 アクセス制御-ルール設定ページ

2. アクセス制御-ルール設定パラメータを設定します。表 6-5 にアクセス制御ルール設定パラメータの一覧を示します。

表 6-5 アクセス制御-ルール設定パラメータ

パラメータ	説明
名前	アクセス制御の名前を設定します。
SSID	SSID を選択して ACL を設定します。
MAC アドレス	無線デバイスの MAC アドレスを設定します。

3. 変更を適用するには[設定]ボタンをクリックします。

6.1.4 WPS の設定

概要

WPS 機能を有効にすると、デバイスはネットワーク名とワイヤレス暗号化キーを自動的に構成できるため、ワイヤレスネットワーク暗号化の構成プロセスが簡素化されます。WPS は高速なネットワーク接続を提供しますが、セキュリティ上のリスクも伴う可能性があります。セキュリティ要件が高いシナリオでは、WPS 機能を無効にすることをお勧めします。

手順

1. Web 管理メイン画面で、**LAN→無線 LAN→WPS**を選択して、**WPS ページ**を開きます。
図 6-8 を参照してください。

図 6-8 WPS ページ

2. WPS パラメータを設定します。表 6-6 に WPS パラメータの一覧を示します。

表 6-6 WPS パラメータリスト

パラメータ	説明
WPS モード	デバイスがサポートする WPS モードです。 1. 有効: プッシュボタン接続、パネルの WPS ボタンを押して WPS 機能を有効にします。(初期値) 2. 無効: WPS 機能を無効にします。

3. 変更を適用するには[設定]ボタンをクリックします。

6.1.5 MLO の設定

概要

このセクションでは、MLO 機能の設定方法について説明します。MLO テクノロジーにより、ルーターは 2.4GHz、5GHz、および 6GHz の複数の周波数帯域を同時にデータ伝送に使用できるため、ネットワークの速度と安定性が大幅に向上します。

ひとつの周波数帯域が干渉を受けたり、負荷がかかったりすると（たとえば、HD ビデオストリーム伝送や大容量ファイルの伝送）、システムは自動的に他の周波数帯域に切り替え、ネットワークアクセスの遅延を効果的に削減し、ユーザーエクスペリエンスを向上させます。

手順

1. Web 管理メイン画面で、**LAN→無線 LAN→MLO**を選択して、**MLO ページ**を開きます。
図 6-9 を参照してください。

図 6-9 MLO ページ

▼ MLO

MLO機能が有効の場合、SSID1の設定はSSID5とSSID9に同期されます(SSID名、パスワード、暗号化方式など)。

有効 ☒ オン ☐ オフ

設定 キャンセル

2. MLO パラメータを設定します。表 6-7 に MLO パラメータの一覧を示します。

表 6-7 MLO パラメータの説明

パラメータ	説明
MLO 有効	1. オン: MLO 機能を有効にします。(初期値) 2. オフ: MLO 機能を無効にします。

3. 変更を適用するには[設定]ボタンをクリックします。

6.1.6 Mesh Wi-Fi の設定

概要

Mesh Wi-Fi 機能を設定する目的は、シームレスで統一された無線ネットワークカバレッジを実現することです。Mesh 技術により、複数の無線アクセスポイント(ルーターや中継機など)が連携して統一された Wi-Fi ネットワークを構成します。これにより、ユーザーが自宅のどこにいても、デバイスが最も強い信号を送信するアクセスポイントに自動的に切り替わり、安定したネットワーク接続を維持できます。

手順

1. Web 管理メイン画面で、LAN→無線 LAN→Mesh Wi-Fi を選択して、Mesh Wi-Fi ページを開きます。表 6-10 を参照してください。

図 6-10 Mesh Wi-Fi ページ

▼ Mesh Wi-Fi

有効 ☐ オン ☒ オフ

設定 キャンセル

- Mesh Wi-Fi パラメータを設定します。表 6-8 に Mesh Wi-Fi パラメータの一覧を示します。

表 6-8 Mesh Wi-Fi パラメータの説明

パラメータ	説明
有効	- オン:メッシュ Wi-Fi 機能を有効にします。 - オフ:メッシュ Wi-Fi 機能を無効にします。(初期値)

- 変更を適用するには[設定]ボタンをクリックします。

6.2 LAN の設定

6.2.1 LAN ステータスの確認

概要

このセクションでは、LAN ステータスを確認して、LAN 内のデバイス接続を参照する方法について説明します。

- LAN ステータス: イーサネットポートの接続ステータス（接続されているかどうか、有効かどうか）、送受信されたバイト数とパケット数などの LAN 情報を表示します。
- LAN クライアントステータス: ポート、IPv4 アドレス、IPv6 アドレス、デバイス名、MAC アドレスなどの詳細な LAN クライアント情報を表示します。

手順

LAN ステータスの確認

- Web 管理メイン画面で、**LAN→ステータス→LAN 情報**を選択して、**LAN 情報**ページを開きます。図 6-11 を参照してください。

図 6-11 LAN 情報ページ

▼ LAN情報

イーサネットポート	LAN1
状態	Up/100Mbps/全二重
受信バイト数 / 送信バイト数	1581405/2867450
受信パケット数 / 送信パケット数	10387/10528
受信ユニキャストパケット数 / 送信ユニキャストパケット数	10266/10514
受信マルチキャストパケット数 / 送信マルチキャストパケット数	102/8
受信エラーパケット数 / 送信エラーパケット数	0/0
受信廃棄パケット数 / 送信廃棄パケット数	0/0

イーサネットポート	LAN2
状態	リンクなし
受信バイト数 / 送信バイト数	0/0
受信パケット数 / 送信パケット数	0/0
受信ユニキャストパケット数 / 送信ユニキャストパケット数	0/0
受信マルチキャストパケット数 / 送信マルチキャストパケット数	0/0
受信エラーパケット数 / 送信エラーパケット数	0/0
受信廃棄パケット数 / 送信廃棄パケット数	0/0

イーサネットポート	LAN3
状態	リンクなし
受信バイト数 / 送信バイト数	0/0
受信パケット数 / 送信パケット数	0/0
受信ユニキャストパケット数 / 送信ユニキャストパケット数	0/0
受信マルチキャストパケット数 / 送信マルチキャストパケット数	0/0
受信エラーパケット数 / 送信エラーパケット数	0/0
受信廃棄パケット数 / 送信廃棄パケット数	0/0

イーサネットポート	10G LAN
状態	リンクなし
受信バイト数 / 送信バイト数	0/0
受信パケット数 / 送信パケット数	0/0
受信ユニキャストパケット数 / 送信ユニキャストパケット数	0/0
受信マルチキャストパケット数 / 送信マルチキャストパケット数	0/0
受信エラーパケット数 / 送信エラーパケット数	0/0
受信廃棄パケット数 / 送信廃棄パケット数	0/0

現在の状態を表示

2. 最新情報を取得するには、[現在の状態を表示]をクリックします。

LAN クライアントステータスの確認

1. Web 管理メイン画面で、LAN→ステータス→LAN クライアントステータスを選択して、LAN クライアントステータスページを開きます。図 6-12 を参照してください。

図 6-12 LAN クライアントステータスページ

▼ LANクライアントステータス	
クライアント-1	
ポート	LAN1
名前	A23866603
IPv4アドレス	192.168.1.2
MACアドレス	e8:d8:d1:6e:8a:4e
IPv6アドレス	fe80::acac:6641:88cf:1d63

[現在の状態を表示](#)

2. 最新情報を取得するには、[現在の状態を表示]をクリックします。

6.2.2 LAN(IPv4)の設定

概要

このセクションでは LAN (IPv4) の設定方法を説明します。LAN (IPv4)は LAN (IPv4) パラメータの設定機能を提供します。

インターネットステータスの関連情報には、割り当てアドレス (DHCP)、DHCP サーバ、DHCP バインディング、DHCP ポート制御が含まれます。

手順

割り当てアドレス (DHCP)

1. Web 管理メイン画面で、LAN→LAN→IPv4→割り当てアドレス (DHCP)を選択して、割り当てアドレス (DHCP)ページを開きます。図 6-13 を参照してください。

図 6-13 割り当てアドレス (DHCP)ページ

▼ 割り当てアドレス (DHCP)				
ホスト名	MACアドレス	IPアドレス	ポート	リース残時間
A23866603	e8:d8:d1:6e:8a:4e	192.168.1.2	LAN1	23 時 19 分 42 秒

[現在の状態を表示](#)

2. [現在の状態を表示]をクリックすると 最新の情報が表示されます。

DHCP サーバー

1. Web 管理メイン画面で、LAN→LAN→IPv4→DHCP サーバを選択して、DHCP サーバーページを開きます。図 6-14 を参照してください。

図 6-14 DHCP サーバーページ

▼ DHCPサーバー

DHCPサーバー

☒ オン
☐ オフ

LAN側IPアドレス

サブネットマスク

DHCP割当開始IPアドレス

DHCP割当終了IPアドレス

ISP DNSサーバ

☐ オン
☒ オフ

プライマリDNSサーバ

セカンダリDNSサーバ

リース期間モード

カスタム

▼

リース期間

秒

設定

キャンセル

2. DHCP サーバのパラメータを設定します。表 6-9 に DHCP サーバのパラメータの一覧を示します。

表 6-9 DHCP サーバのパラメータ

パラメータ	説明
DHCP サーバー	DHCP サーバ機能を有効(オン)または無効(オフ)にします。オンを選択すると、デバイスは DHCP サーバとして機能し、クライアント PC もしくはワイヤレスデバイスに IP アドレスを割り当てます。 初期値: オン
LAN 側 IP アドレス	LAN IPv4 のアドレスを設定します。
サブネットマスク	デバイスのサブネットマスクを設定します。
DHCP 割当開始 IP アドレス	DHCP アドレスプールの開始 IP アドレスを設定します。
DHCP 割当終了 IP アドレス	DHCP アドレスプールの終了 IP アドレスを設定します。
ISP DNS サーバ	ISP DNS サーバ機能を有効(オン)または無効(オフ)にします。 初期値: オフ
プライマリ DNS サーバ	ISP から提供されたプライマリサーバーの IP アドレスを設定します。
セカンダリ DNS サーバ	ISP から提供されたセカンダリサーバーの IP アドレスを設定します。
リース時間モード	割り当てられた IP アドレスを使用できる時間の長さです。 カスタム: IP アドレスを使用できる時間は制限にします。 無限: IP アドレスを使用できる時間は無限にします。 初期値: カスタム

リース時間	クライアントPCがDHCPサーバによって割り当てられたIPアドレスを使用している時間を設定します。 リース期限が切れると、プライベートIPアドレスは他のネットワークデバイスに割り当てられるようになります。 初期値: 86400 秒
-------	--

3. 変更を適用するには[設定]ボタンをクリックします。

DHCP バインディング

1. Web 管理メイン画面で、LAN→LAN→IPv4→DHCP バインディングを選択して、DHCP バインディングページを開きます。図 6-15 を参照してください。

図 6-15 DHCP バインディングページ

2. DHCP バインディングパラメータを設定します。表 6-10 に DHCP バインディングパラメータの一覧を示します。

表 6-10 DHCP バインディングパラメータ

パラメータ	説明
名前	DHCP バインディングの名前を設定します。 長さ: 1～10
MAC アドレス	DHCP バインディングの MAC アドレスを設定します。
IP アドレス	DHCP バインディングの IP アドレスを設定します。

3. 変更を適用するには[設定]ボタンをクリックします。

デバイスの DHCP ソース

1. Web 管理メイン画面で、LAN→LAN→IPv4→デバイスの DHCP ソースを選択して、デバイスの DHCP ソースページを開きます。図 6-16 を参照してください。

図 6-16 デバイスの DHCP ソースページ

▼ デバイスのDHCPソース

LAN1	☒ 制御なし	☐ インターネット	☐ ローカル
LAN2	☒ 制御なし	☐ インターネット	☐ ローカル
LAN3	☒ 制御なし	☐ インターネット	☐ ローカル
10G LAN	☒ 制御なし	☐ インターネット	☐ ローカル
SSID1	☒ 制御なし	☐ インターネット	☐ ローカル
SSID2	☒ 制御なし	☐ インターネット	☐ ローカル
SSID3	☒ 制御なし	☐ インターネット	☐ ローカル
SSID4	☒ 制御なし	☐ インターネット	☐ ローカル
SSID5	☒ 制御なし	☐ インターネット	☐ ローカル
SSID6	☒ 制御なし	☐ インターネット	☐ ローカル
SSID7	☒ 制御なし	☐ インターネット	☐ ローカル
SSID8	☒ 制御なし	☐ インターネット	☐ ローカル
SSID9	☒ 制御なし	☐ インターネット	☐ ローカル
SSID10	☒ 制御なし	☐ インターネット	☐ ローカル
SSID11	☒ 制御なし	☐ インターネット	☐ ローカル
SSID12	☒ 制御なし	☐ インターネット	☐ ローカル

2. デバイスの DHCP ソースのパラメータを設定します。表 6-11 にデバイスの DHCP ソースのパラメータの一覧を示します。

表 6-11 DHCP ポート制御パラメータの説明

パラメータ	説明
制御なし	このオプションを選択すると、DHCP サービスに対するポート制御を行いません。つまり、ゲートウェイに接続されたすべてのポートが DHCP リクエストを受信し、IP アドレスを取得できます。
インターネット	このオプションを選択すると、特定のインターネットポート(WAN ポート)を通じてのみ DHCP リクエストを受信します。この場合、ISP から IP アドレスを取得します。
ローカル	このオプションを選択すると、特定の LAN ポートを通じてのみ DHCP リクエストを受信します。これにより、ホームネットワークに接続されたデバイスのみが IP アドレスを取得できます。

3. 変更を適用するには[設定]ボタンをクリックします。

6.2.3 LAN(IPv6)の設定

概要

このセクションでは LAN (IPv6) の設定方法を説明します。

インターネットステータスの関連情報には、割り当てアドレス(DHCPv6)、LAN アドレス管理、DHCPv6 サーバ、静的プレフィックス、DHCP ポート制御、RA サービスが含まれます。

前提条件

プレフィックス委任を設定する前に、設定する IPv6 WAN 接続でプレフィックス委任が有効になっていることを確認します。

手順

割り当てアドレス(DHCPv6)の確認

1. Web 管理メイン画面で、**LAN→LAN→IPv6→割り当てアドレス(DHCPv6)**を選択して、**割り当てアドレス(DHCPv6)**ページを開きます。図 6-17 を参照してください。

図 6-17 割り当てアドレス(DHCPv6) ページ

▼ 割り当てアドレス (DHCPv6)		
DUID	IPアドレス	リース残時間
00:01:00:01:2f:e1:dc:25:08:00:27:cd:00:27	a172:16:3301:8c00:a00:27ff:fe0d:27	0 時 35 分 5 秒
		現在の状態を表示

2. **[現在の状態を表示]**をクリックすると最新の情報が表示されます。

LAN アドレスの設定

1. Web 管理メイン画面で、**LAN→LAN→IPv6→LAN アドレス管理**を選択して、**LAN アドレス管理**ページを開きます。図 6-18 を参照してください。

図 6-18 LAN アドレス管理ページ

▼ LANアドレス管理	
LAN IPv6アドレス	fe80::1
	設定 キャンセル

2. LAN アドレスパラメータを設定します。表 6-12 に LAN アドレスパラメータの一覧を

示します。

表 6-12 LAN アドレスパラメータ説明

パラメータ	説明
LAN IPv6 アドレス	LAN の IPv6 アドレスです。

3. 変更を適用するには[設定]ボタンをクリックします。

静的プレフィックスの設定

1. Web 管理メイン画面で、**LAN→LAN→IPv6→静的プレフィックス**を選択して、**静的プレフィックス**ページを開きます。図 6-19 を参照してください。

図 6-19 静的プレフィックスページ

2. 静的プレフィックスのパラメータを設定します。表 6-13 に静的プレフィックスパラメータの一覧を示します。

表 6-13 静的プレフィックスパラメータの説明

パラメータ	説明
名前	プレフィックスの名前です。 長さ: 1~10
プレフィックス	IPv6 アドレスとプレフィックスです。 GUA プレフィックスのみがサポートされます。 プレフィックス長範囲: 1~64

3. 変更を適用するには[設定]ボタンをクリックします。

DHCPv6 サーバの設定

1. Web 管理メイン画面で、**LAN→LAN→IPv6→DHCPv6 サーバ**を選択して、**DHCPv6 サーバー**ページを開きます。図 6-20 を参照してください。

図 6-20 DHCPv6 サーバーページ

▼ DHCPv6サーバー

DHCPv6サーバを設定する際に注意すべき点は何ですか?

DHCPv6サーバー ☒ オン ☐ オフ

DNS委任タイプ ☒ 自動 ☐ マニュアル

DNSアドレス指定

DNSリフレッシュ時間 秒

プレフィックス委任タイプ

設定

キャンセル

2. DHCPv6 サーバパラメータを設定します。表 6-14 に DHCPv6 サーバパラメータの一覧を示します。

表 6-14 DHCP サーバパラメータの説明

パラメータ	説明
DHCPv6 サーバ	DHCPv6 サーバ機能を有効(オン)または無効(オフ)にします。オンを選択すると、デバイスはDHCPサーバとして機能し、クライアントPCもしくはワイヤレスデバイスにIPアドレスを割り当てます。 初期値: オン
DNS 委任タイプ	1. 自動: 使用可能なすべてのDNSから自動的に選択された1つのDNSが委任されます。 2. マニュアル: 以前に構成されたすべてのDNSから手動で選択された1つ以上のDNSが委任されます。 初期値: 自動
DNS リフレッシュ時間	クライアントPCがDHCPサーバによって割り当てられたIPアドレスを使用する時間です。 リース期間が終了すると、プライベートIPアドレスは他のネットワークデバイスに割り当てることができます。 初期値: 86400 秒
プレフィックス委任タイプ	1. オートセンス: 使用可能なすべてのプレフィックスから自動的に選択された1つのプレフィックスが委任されます。 2. マニュアル: 以前に構成されたすべての静的プレフィックスから手動で選択された1つ以上のプレフィックスが委任されます。 3. 無効: プレフィックスは委任されません。 初期値: オートセンス

3. 変更を適用するには[設定]ボタンをクリックします。

RA サービスの設定

1. Web 管理メイン画面で、LAN→LAN→IPv6→RA サービスを選択して、RA サービスページを開きます。図 6-21 を参照してください。

図 6-21 RA サービスページ

▼ RAサービス

RAサービスの設定時に注意すべき点は何ですか?

RAサービス	☒ オン ☐ オフ
MTUを指定する	☐ オン ☒ オフ
プリファレンス	中 ▼
最小再試行間隔	200 秒
最大再試行間隔	600 秒
M	☐ オン ☒ オフ
O	☒ オン ☐ オフ
プレフィックス委任タイプ	オートセンス ▼

設定

キャンセル

2. RA サービスパラメータを設定します。表 6-15 に RA サービスパラメータの一覧を示します。

表 6-15 RA サービスパラメータの説明

パラメータ	説明
RA サービス	RA サービス機能を有効(オン)または無効(オフ)にします。 初期値: オン
MTU を指定する	オンを選択した場合は、MTU 値を入れます。 範囲: 1280~1500 初期値: オフ
プリファレンス	オプション: 高、中、低 IPv6 は一番大きいプリファレンスを選択します。 初期値: 中
MTU	最大転送サイズを指定します。 範囲: 1280~1500
最小/最大再試行間隔	最小・最大試行間隔(秒)を指定します。 最小試行間隔 3~1350 初期値: 200

	最大試行間隔 4~1800 初期値: 600
M, O	M(フラグ)、O(フラグ)のオン/オフを選択します。 M = 0 & O = 0: SLAAC RA のみを利用したステートレス自動設定)が使用されます。 M = 1 & O = 1: DHCPv6 がアドレスおよびネットワーク情報配布に使用されます。 M = 0 & O = 1: SLAAC がアドレス情報配布に使用されます。ネットワークパラメータ情報の配布には DHCPv6 が使用されます。 M = 1 & O = 0: DHCPv6 がアドレス情報の配布に使用されます。その他のネットワークパラメータは手動で設定する必要があります。 初期値: M: オフ O: オン
プレフィックス委任タイプ	プレフィックス委任(PD)タイプを指定します。 オートセンス: 有効なプレフィックスから自動的に選択します。 マニュアル: 有効なプレフィックスを手動で選択します。 初期値: オートセンス

3. 変更を適用するには[設定]ボタンをクリックします。

ポート制御の設定

1. Web 管理メイン画面で、**LAN→LAN→IPv6→ポート制御**を選択して、**ポート制御**ページを開きます。図 6-22 を参照してください。

図 6-22 ポート制御ページ

▼ ポート制御

LAN1	☒ DHCPv6	☒ RA
LAN2	☒ DHCPv6	☒ RA
LAN3	☒ DHCPv6	☒ RA
10G LAN	☒ DHCPv6	☒ RA
SSID1	☒ DHCPv6	☒ RA
SSID2	☒ DHCPv6	☒ RA
SSID3	☒ DHCPv6	☒ RA
SSID4	☒ DHCPv6	☒ RA
SSID5	☒ DHCPv6	☒ RA
SSID6	☒ DHCPv6	☒ RA
SSID7	☒ DHCPv6	☒ RA
SSID8	☒ DHCPv6	☒ RA
SSID9	☒ DHCPv6	☒ RA
SSID10	☒ DHCPv6	☒ RA
SSID11	☒ DHCPv6	☒ RA
SSID12	☒ DHCPv6	☒ RA

すべてオン | すべてオフ

設定 キャンセル

2. ポート制御パラメータを設定します。表 6-16 にポート制御パラメータの一覧を示します。

表 6-16 ポート制御パラメータの説明

パラメータ	説明
DHCPv6	ポートで DHCPv6 が選択されている場合、そのポートで DHCPv6 サービスが有効になります。 DHCPv6 が有効になると、ポートに接続されたデバイスに IPv6 アドレスを自動的に割り当て、ネットワーク設定の効率と利便性を向上させます。
RA	ポートで RA が選択されている場合、そのポートで RA 機能が有効になります。 RA 機能が有効になると、定期的にポートに接続されたデバイスに RA メッセージを送信します。RA メッセージを受信後、デバイスには IPv6 アドレスやその他のネットワーク設定が自動的に構成されます。これにより、ネットワーク設定プロセスが簡素化され、デバイスが IPv6 ネットワークに正常にアクセスできるようになります。

3. 変更を適用するには[設定]ボタンをクリックします。

6.3 UPnP の設定

概要

UPnP は、手動設定なしに電子機器同士が自動的に接続して通信できるネットワークプロトコルです。

ホームゲートウェイで有効化された UPnP プロトコルにより、ネットワーク機器の接続と設定が簡素化されます。

手順

1. Web 管理メイン画面で、LAN→UPnP を選択して、UPnP ページを開きます。図 6-27 を参照してください。

図 6-27 UPnP ページ

2. UPnP パラメータを設定します。表 6-17 に UPnP パラメータの一覧を示します。

表 6-17 UPnP パラメータ

パラメータ	説明
UPnP	1. オン:UPnP 機能を有効にします。 2. オフ:UPnP 機能を無効にします。 初期値:オン
アドバタイズメント周期	UPnP デバイスがアナウンスパケットを送信する期間です。この期間中に UPnP デバイスがアナウンスパケットを送信しない場合、デバイスが無効であることを示しています。 初期値:30 分
アドバタイズメント継続時間	アドバタイズメントの TTL。アドバタイズメントは、ルーターによって指定された回数だけ転送された後に破棄されます。

	初期値:4
--	-------

3. 変更を適用するには[設定]ボタンをクリックします。

6.4 DNS の設定

概要

このセクションでは DNS の設定方法を説明します。DNS は、DNS パラメータの設定機能を提供します。インターネットステータスの関連情報には、ドメイン名およびホスト名が含まれます。

手順

ドメイン名

1. Web 管理メイン画面で、LAN→DNS→ドメイン名を選択して、ドメイン名ページを開きます。図 6-28 を参照してください。

図 6-28 ドメイン名ページ

▼ ドメイン名

ドメイン名

設定 キャンセル

2. テキストボックスにドメイン名を入力します。
3. 変更を適用するには[設定]ボタンをクリックします。

ホスト名

1. Web 管理メイン画面で、LAN→DNS→ホスト名を選択して、ホスト名ページを開きます。図 6-29 を参照してください。

図 6-29 ホスト名ページ

2. ホスト名パラメータを設定します。表 6-18 にホスト名パラメータの一覧を示します。

表 6-18 ホスト名パラメータ説明

パラメータ	説明
ホスト名	コンピュータまたはデバイスを識別するために使用されるホスト名です。
IP アドレス	ホスト名に関連付けられた IP アドレスです。この IP アドレスは、ネットワーク内でデバイスを一意に識別します。

3. 変更を適用するには[設定]ボタンをクリックします。

DNS

1. Web 管理メイン画面で、LAN→DNS→DNS を選択して、DNS ページを開きます。図 6-30 を参照してください。

図 6-30 DNS ページ

2. DNS パラメータを設定します。表 6-19 に DNS パラメータの一覧を示します。

表 6-19 DNS パラメータ説明

パラメータ	説明
IPv4 DNS サーバー 1	優先 DNS サーバの IPv4 アドレスです。

IPv4 DNS サーバー 2	補助 DNS サーバの IPv4 アドレスです。優先 DNS サーバが利用できない場合、ドメイン名解決に使用されます。
IPv6 DNS サーバー 1	優先 DNS サーバの IPv6 アドレスです。
IPv6 DNS サーバー 2	補助 DNS サーバの IPv6 アドレスです。優先 DNS サーバが利用できない場合、ドメイン名解決に使用されます。

3. 変更を適用するには[設定]ボタンをクリックします。

7 VoIP

7.1 SIP 機能の設定

概要

VoIP サービスを設定する目的は、VoIP 機能を有効にし、ユーザーが従来の電話回線ではなくインターネット接続を利用して音声通話を行えるようにすることです。

手順

1. Web 管理メイン画面で、VoIP→VoIP サービス→SIP アカウント 1 を選択して、SIP アカウント 1 ページを開きます。表 7-1 を参照してください。

図 7-1 SIP アカウント 1 ページ

2. VoIP サービスパラメータを設定します。表 7-1 に VoIP サービスパラメータの一覧を示します。

表 7-1 SIP パラメータ説明

パラメータ	説明
発番号通知	1. オン: 発番号通知を有効にします。

	2. オフ:発番号通知を無効にします。 初期値:オン
発番号表示	1. オン:発番号表示を有効にします。 2. オフ:発番号表示を無効にします。 初期値:オン

3. 変更を適用するには[設定]ボタンをクリックします。

8 管理と診断

8.1 デバイス管理設定

概要

この手順では、デバイスを再起動する方法および工場出荷時の初期値設定を復元する方法を説明します。

手順

リブート機能

1. Web 管理メイン画面で、**管理&診断→システム管理→リブート機能**を選択して、リブート機能ページを開きます。図 8-1 を参照してください。

図 8-1 リブート機能ページ



2. [リブート]ボタンをクリックすると本製品が再起動します。再起動後、構成パラメータはクリアされないため、設定を再構成する必要はありません。

リセット機能

1. Web 管理メイン画面で、**管理&診断→システム管理→リセット機能**を選択して、リセット機能ページを開きます。表 8-2 を参照してください

図 8-2 リセット機能ページ

▼ リセット機能

工場出荷時のリセット：すべてのパラメータ設定が工場出荷時の状態に戻ります。この操作が完了すると、デバイスは自動的に再起動します。

注：この操作が終了すると、すべての設定が初期化され、工場出荷時の状態に戻ります。

リセット

2. **[リセット]**ボタンをクリックすると本製品は初期化動作を行います。設定を工場出荷時状態へ戻します。

8.2 アカウント管理

概要

ここでは、ユーザーアカウントのパスワードを変更する方法を説明します。

手順

1. Web 管理メイン画面で、**管理 & 診断**→**アカウント管理**→**管理者パスワードの管理**を選択して、**管理者パスワードの管理**ページを開きます。表 8-3 を参照してください。

図 8-3 管理者パスワードの管理ページ

▼ 管理者パスワードの管理

ユーザー名

旧パスワード

新パスワード

パスワードの確認

設定 **キャンセル**

2. 管理者パスワードの管理のパラメータを設定します。表 8-1 に管理者パスワードの管理のパラメータの一覧を示します。

表 8-1 ユーザーアカウント管理パラメータ

パラメータ	説明
ユーザー名	ログイン時のユーザー名です。

	初期値は admin であり、変更出来ません。
旧パスワード	旧パスワードを入力します。
新パスワード	新しいパスワードを指定します。
新パスワードの確認	新しいパスワードを確認します。

3. 変更を適用するには[設定]ボタンをクリックします。

8.3 アイドルタイムアウトの設定

概要

アイドルタイムアウトは、ホームゲートウェイのセキュリティを強化するために設定されます。ユーザーが一定時間操作を行わない場合、ゲートウェイは自動的にユーザーをログアウトし、不正な操作を防ぎます。

手順

1. Web 管理メイン画面で、**管理 & 診断**→**アカウント管理**→**アイドルタイムアウト**を選択して、**アイドルタイムアウトページ**を開きます。表 8-4 を参照してください。

図 8-4 アイドルタイムアウトページ

2. アイドルタイムアウトのパラメータを設定します。表 8-2 にアイドルタイムアウトのパラメータの一覧を示します。

表 8-2 アイドルタイムアウトパラメータの説明

パラメータ	説明
タイムアウト	ユーザーが自動的にログアウトされるまでの最大アイドル時間。 単位: 分 設定範囲: 1～30

3. 変更を適用するには[設定]ボタンをクリックします。

8.4 ECO モード設定

概要

ここでは、ECO モードを構成する方法を説明します。

手順

1. Web 管理メイン画面で、**管理 & 診断**→**ECO モード**→**ECO** を選択して、ECO ページを開きます。表 8-5 を参照してください。

図 8-5 ECO ページ

2. ECO モードのパラメータを設定します。表 8-3 に、ECO モードのパラメータの一覧を示します。

表 8-3 ECO モードのパラメータ

パラメータ	説明
ECO 有効	1. オン: 省エネ機能を有効にします。 2. オフ: 省エネ機能を無効にします。
TWT 有効 (ECO 有効時表示)	1. オン: TWT 省エネ機能を有効にします。 2. オフ: TWT 省エネ機能を無効にします。
EEE 有効 (ECO 有効時表示)	1. オン: EEE 省エネ機能を有効にし、時間ポリシー設定を有効にします。 2. オフ: EEE 省エネ機能を無効にし、時間ポリシー設定を無効にします。

3. 変更を適用するには**[設定]**ボタンをクリックします。

8.5 ネットワーク診断

概要

このセクションでは診断の方法を説明します。診断は、診断設定機能のパラメータを提供します。

関連する診断には、Ping テスト、トレース ルート診断が含まれます。

手順

Ping テスト

1. Web 管理メイン画面で、**管理 & 診断**→**診断**→**実行**→**PING テスト**を選択して、**PING テスト**ページを開きます。表 8-6 を参照してください。

図 8-6 PING テストページ

2. Ping 診断パラメータを設定します。表 8-4 に Ping 診断パラメータを示します。

表 8-4 Ping 診断パラメータの説明

パラメータ	説明
IP アドレス	Ping テストが必要な宛先 IP アドレス。
ホスト名	Ping テストが必要な宛先ホストのドメイン名またはホスト名。
出力インターフェース	Ping リクエストパケットが送信されるネットワークインターフェース。
繰り返し回数	Ping リクエストパケットを送信する再試行回数。
データブロックサイズ	Ping リクエストパケットのデータブロックサイズ。正の整数で、単位はバイトです。たとえば、64 は各 Ping リクエストパケットに 64 バイトが含まれることを

	意味します。
タイムアウト	Ping 応答を待つ最大時間。指定された時間内に応答が受信されない場合、Ping リクエストは失敗とみなされます。

3. **【実行】ボタン**をクリックし、接続を診断します。システムは、診断結果を出力します。

トレースルート診断

1. Web 管理メイン画面で、**管理 & 診断→診断→実行→トレースルート診断**を選択して、**トレースルート診断**ページを開きます。表 8-7 を参照してください。

図 8-7 トレースルート診断ページ

2. パラメータを設定します。パラメータの説明は、表 8-5 を参照してください。

表 8-5 トレースルート診断の基本パラメータの説明

パラメータ	説明
アドレス/ホスト名	トレースルートの宛先 IP アドレスまたはホスト名
WAN 接続	外部ネットワークとの接続を検出した場合は、対応する WAN 接続
最大ホップ数	トレースルート診断されたパケットが宛先に到達するまでの最大ホップ数。 初期値は 30 です。

待ち時間	応答パケットの待ち時間(単位:ms)。
プロトコル	UDP または ICMP

3. [実行]ボタンをクリックします。

8.6 ループバック検出の設定

概要

ここでは、基本パラメータ、スイッチ制御、VLAN など、ループバック検出を設定する方法について説明します。

手順

基本設定

1. Web 管理メイン画面で、**管理 & 診断**→**診断**→**ループバック検出**→**基本設定**を選択して、**基本設定**ページを開きます。表 8-8 を参照してください。

図 8-8 基本設定ページ

2. ループバック検出パラメータを設定します。表 8-6 にループバック検出パラメータを示します。

表 8-6 ループバック検出の基本パラメータの説明

パラメータ	説明
宛先 MAC	宛先 MAC モード。 オプション:ブロードキャストアドレス、BPDU アドレス。
イーサネットタイプ	ポートループバック検出用のイーサネットパケットのタイプです。
送信間隔	ループバック検出パケットを送信する間隔です。

ポート閉じる時間	ポートでループバックが検出されてからポートを閉じるための許容時間です。
ループバック復旧時間	ループバック検出が完了したかどうかを判断するために使用される時間です。この期間内に検出パケットが受信されない場合、ループバック検出は完了したと見なされます。

3. [設定]ボタンをクリックします。

スイッチ制御

1. Web 管理メイン画面で、**管理 & 診断**→**診断**→**ループバック検出**→**スイッチ制御**を選択して、スイッチ制御ページを開きます。表 8-9 を参照してください。

図 8-9 スイッチ制御ページ

2. スイッチ制御パラメータを設定します。表 8-7 にスイッチ制御パラメータの一覧を示します。

表 8-7 スイッチ制御パラメータの説明

パラメータ	説明
ポート	ループバック検出に使用するポートを指定します。
ループバック	ループが検出された場合、F8748Q が実行するアクションを定義します。 1. このオプションを選択すると、ループバック検出が有効になります。 2. このオプションをクリアすると、ループバック検出が無効になります。
アラーム	ループが検出された際に管理者へアラームを送信するかどうか。 3. このオプションを選択すると、管理者へアラームが送信されます。 4. このオプションをクリアすると、アラームはトリガーされません。
ポートディスループ	ループ除去後に、ループによりシャットダウンされたポートをスイッチが処理する方法。 1. このオプションを選択すると、ループ除去後ポートは自動的に再起動します。

	2. このオプションをクリアすると、ループ除去後ポートは管理者による手動再起動が必要です。
--	---

3. [設定]ボタンをクリックします。

VLAN の選択

1. Web 管理メイン画面で、**管理 & 診断**→**診断**→**ループバック検出**→**VLAN**を選択して、**VLAN** ページを開きます。表 8-10 を参照してください。

図 8-10 VLAN ページ

2. VLAN パラメータを設定します。表 8-8 に VLAN パラメータの一覧を示します。

表 8-8 VLAN パラメータの説明

パラメータ	説明
ポート	VLAN ループバック検出の対象ポートを指定します。
VLAN ID	ループバック検出対象の VLAN ID を定義します。

3. [設定]ボタンをクリックします。

9 トラブルシューティング

POWER LED が点灯しません

電源がオフになっています。付属品の AC-DC 電源アダプタが正しく接続されているかご確認してください。

通電後 ALARM LED が赤色で点灯しています

本製品本体が故障しています。本製品をリセットし LED 状態を確認してください。同じ状況が続く場合、サービス提供元が指定するお問い合わせ先に連絡し、本製品を交換してください。

通電後、LINE LED が点灯しません

PON が接続されていません。POWER LED が緑色で点灯しているかご確認ください。
POWER LED が点灯している状態で LINE LED が点灯しない場合、サービス提供元が指定するお問い合わせ先に連絡し、接続を確認してください。回線認証が成功した場合、LINE LED は常に点灯します。

通電後、Wi-Fi LED が点灯しません

Wi-Fi LED が点灯しないと Wi-Fi 機能が使えません。WLAN ボタンを押して Wi-Fi 機能をオンにしてください。



図 2-1 フロントパネルの LED 表示	8
図 2-2 サイドパネルのインターフェースとボタン	10
図 2-3 接続全体図	12
図 3-1 Ping 画面	18
図 3-2 ログインページ	19
図 3-3 ホームページ	19
図 3-4 デバイス情報ページ	20
図 4-1 トポロジー画面	21
図 5-1 PON 情報ページ	22
図 5-2 WAN 接続ステータスページ	23
図 5-3 ファイアウォールページ	24
図 5-4 フィルタスイッチとモード設定ページ	25
図 5-5 IP フィルタページ	26
図 5-6 MAC フィルタページ	29
図 5-7 URL フィルタページ	30
図 5-8 ALG ページ	30
図 5-9 DMZ-IPv4 ページ	32
図 5-10 ポート転送ページ	33
図 5-11 ポートトリガーページ	35
図 5-12 ペアレンタルコントロールページ	37
図 5-13 SNTP ページ	39
図 6-1 無線 LAN ステータスページ	40
図 6-2 無線 LAN クライアントステータスページ	43
図 6-3 無線 LAN オン/オフ設定ページ	43
図 6-4 無線 LAN 詳細設定ページ	44
図 6-5 無線 LAN SSID の設定ページ	46
図 6-6 アクセス制御-モード設定ページ	48
図 6-7 アクセス制御-ルール設定ページ	49
図 6-8 WPS ページ	50
図 6-9 MLO ページ	51
図 6-10 Mesh Wi-Fi ページ	52
図 6-11 LAN 情報ページ	53
図 6-12 LAN クライアントステータスページ	55
図 6-13 割り当てアドレス (DHCP)ページ	56
図 6-14 DHCP サーバーページ	57

図 6-15 DHCP バインディングページ	58
図 6-16 デバイスの DHCP ソースページ	58
図 6-17 割り当てアドレス(DHCPv6) ページ	60
図 6-18 LAN アドレス管理ページ	60
図 6-19 静的プレフィックスページ	61
図 6-20 DHCPv6 サーバーページ	61
図 6-21 RA サービスページ	63
図 6-22 ポート制御ページ	64
図 6-27 UPnP ページ	66
図 6-28 ドメイン名ページ	67
図 6-29 ホスト名ページ	67
図 6-30 DNS ページ	68
図 7-1 SIP アカウント 1 ページ	69
図 8-1 リブート機能ページ	70
図 8-2 リセット機能ページ	71
図 8-3 管理者パスワードの管理ページ	71
図 8-4 アイドルタイムアウトページ	72
図 8-5 ECO ページ	73
図 8-6 PING テストページ	74
図 8-7 トレースルート診断ページ	75
図 8-8 基本設定ページ	76
図 8-9 スイッチ制御ページ	77
図 8-10 VLAN ページ	78

表

表 2-1 パッケージの内容	6
表 2-2 フロントパネルの LED 表示	9
表 2-3 サイドパネルのインターフェースとボタンの説明	11
表 2-4 製品仕様	12
表 5-1 ファイアウォール	24
表 5-2 フィルタスイッチとモード設定パラメータの説明	26
表 5-3 IP フィルタのパラメータ一覧	27
表 5-4 MAC フィルタパラメータの説明	29
表 5-5 URL フィルタパラメータの説明	30
表 5-6 ALG パラメータの説明	31
表 5-7 DMZ パラメータ	32
表 5-8 ポート転送パラメータ	34
表 5-9 ポートトリガーパラメータ	36
表 5-10 ペアレンタルコントロールパラメータ	38
表 5-11 SNTP パラメータ	39
表 6-1 無線 LAN オン/オフ設定パラメータ	44
表 6-2 無線 LAN 詳細設定パラメータ	45
表 6-3 無線 SSID の設定パラメータ	47
表 6-4 アクセス制御モードの設定パラメータ	49
表 6-5 アクセス制御-ルール設定パラメータ	50
表 6-6 WPS パラメータリスト	51
表 6-7 MLO パラメータの説明	52
表 6-8 Mesh Wi-Fi パラメータの説明	53
表 6-9 DHCP サーバのパラメータ	57
表 6-10 DHCP バインディングパラメータ	58
表 6-11 DHCP ポート制御パラメータの説明	59
表 6-12 LAN アドレスパラメータ説明	61
表 6-13 静的プレフィックスパラメータの説明	61
表 6-14 DHCP サーバパラメータの説明	62
表 6-15 RA サービスパラメータの説明	63
表 6-16 ポート制御パラメータの説明	65
表 6-17 UPnP パラメータ	66
表 6-18 ホスト名パラメータ説明	68
表 6-19 DNS パラメータ説明	68
表 7-1 SIP パラメータ説明	69

表 8-1 ユーザーアカウント管理パラメータ	71
表 8-2 アイドルタイムアウトパラメータの説明	72
表 8-3 ECO モードのパラメータ	73
表 8-4 Ping 診断パラメータの説明	74
表 8-5 トレースルート診断の基本パラメータの説明	75
表 8-6 ループバック検出の基本パラメータの説明	76
表 8-7 スイッチ制御パラメータの説明	77
表 8-8 VLAN パラメータの説明	78

用語集

ALG

- Application Level Gateway

BPDU

- Bridge Protocol Data Unit

DHCP

- Dynamic Host Configuration Protocol

DHCPv6

- Dynamic Host Configuration Protocol for IPv6

DMZ

- Demilitarized Zone

DNS

- Domain Name System

DSCP

- Differentiated Services Code Point

FTP

- File Transfer Protocol

H.323

- ITU-T Rec. Packet-based Multimedia Communications Systems

ICMP

- Internet Control Message Protocol

IP

- Internet Protocol

IPv4

- Internet Protocol Version 4

IPv6

- Internet Protocol Version 6

ISP

- Internet Service Provider

LAN

- Local Area Network

MAC

- Mobile Access Code
- Media Access Control

MLO

- Multi-Link Operation

NAT

- Network Address Translation

ONU

- Optical Network Unit

PON

- Passive Optical Network

PPTP

- PPP Tunnel Protocol

QoS

- Quality of Service

RA

- Router Advertisement

RTSP

- Real-Time Streaming Protocol

SIP

- Session Initiation Protocol
- Subscriber Interface Processor

SSID

- Service Set Identifier

STP

- Spanning Tree Protocol

TCP

- Transmission Control Protocol

TFTP

- Trivial File Transfer Protocol

UDP

- User Datagram Protocol

UPnP

- Universal Plug and Play

URL

- Uniform Resource Locator

VLAN

- Virtual Local Area Network

WAN

- Wide Area Network

WPS

- Wireless Priority Service